

唐土名勝圖會

直隸

五

唐土名勝圖會第一集卷之五

目次

直隸

目錄

順天府

保定府

永平府

河間府

ル 5

987

5





水越后高田  
久村  
油 豎春日

馬  
隸  
米

專上名券圖會

直隸

順天府

卷之五

圖說  
 大興苑平北二縣（今屬陝西）即京師（今北京）之係（屬）也故以此卷之  
 此卷之西海子（今屬北京）西苑（今屬北京）其外玉泉山（今屬北京）瀛山（今屬北京）及西山天  
 壽山（今屬北京）京師（今北京）之環（繞）乾桑河（今屬北京）盧溝橋（今屬北京）到（達）此  
 郊（外）回（記）以（後）是圖之（中）也（出）之（合）一（見）之  
 全（と）知（る）之（也）又易州（今屬河北）直隸州（今屬河北）之（中）也  
 方（位）之（依）て府（の）圖（を）係（以）以下（は）皆（准）之（知）る（也）

唐二名勝圖會卷之五日錄

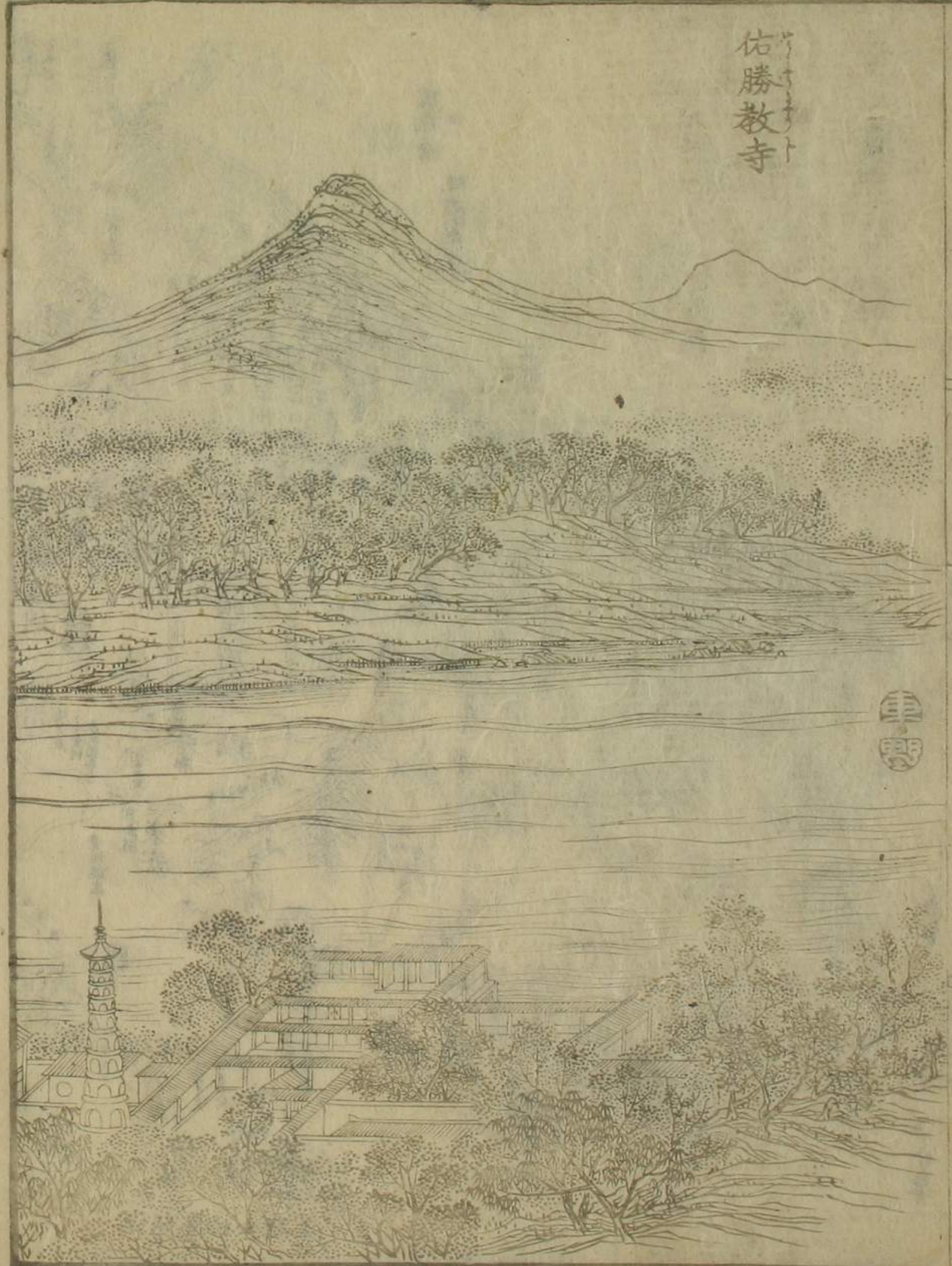
順天府

- |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 通州  | 薊州  | 東安縣 | 宝坻縣 | 懷柔縣 | 保定縣 | 保定府 | 清苑縣 | 安肅縣 | 博野縣 | 蠡縣  | 新安縣 |
| 昌平州 | 良鄉縣 | 香河縣 | 寧河縣 | 房山縣 | 平谷縣 |     | 祁州  | 定興縣 | 望都縣 | 雄縣  |     |
| 涿州  | 固安縣 | 三河縣 | 順義縣 | 文安縣 |     |     | 安州  | 新城縣 | 容城縣 | 速縣  |     |
| 霸州  | 永清縣 | 武清縣 | 密雲縣 | 大城縣 |     |     | 滿城縣 | 唐縣  | 完縣  | 高陽縣 |     |





佑勝教寺



直隸

順天府

卷之五



ありて多く其苑と用く。眺亭とて其令蓋と添へてうづりてし。苑と名くは

張家灣 卅城の南にあり。元の代張萬戸とて居る。強固の者此に居たり。故に此名あり。白河の

又澤河とてあり。張家灣と添へて入澤河と流す。此地澤圃の貢物多し。集り繁るる港也。

孤山 卅城の東にあり。四面皆崖平にして中一の峯高く挺たり。故に名くは

長城 卅の北にあり。秦の始皇帝が築き置きたり。此は魏の始皇帝の築きたり。其の北に

東の二臺は明の武寧王徐達が作るなり。又唐の薛仁貴が築きたり。此其臺

水の一臺は慕容氏將を拜せし臺なり。○通遊亭 卅城の東南にあり。漢の王莽が築きたり。

右勝教寺 卅城の西にあり。唐の代の故刹なり。寺内十三層の巨塔あり。其の北に

○此寺白河の岸にあり。天竺僧が築きたり。白河の流すは其の揺動するなり。其の北に

○此寺白河の岸にあり。天竺僧が築きたり。白河の流すは其の揺動するなり。其の北に

○此寺白河の岸にあり。天竺僧が築きたり。白河の流すは其の揺動するなり。其の北に

密武王廟 卅城の東南にあり。明の功臣常遇春の廟なり。○人物 金の賈少卿は通州の人なり。其の

○人物 金の賈少卿は通州の人なり。其の常遇春は通州の人なり。其の

○人物 金の賈少卿は通州の人なり。其の常遇春は通州の人なり。其の

○人物 金の賈少卿は通州の人なり。其の常遇春は通州の人なり。其の

○人物 金の賈少卿は通州の人なり。其の常遇春は通州の人なり。其の

○人物 金の賈少卿は通州の人なり。其の常遇春は通州の人なり。其の

○人物 金の賈少卿は通州の人なり。其の常遇春は通州の人なり。其の

○人物 金の賈少卿は通州の人なり。其の常遇春は通州の人なり。其の

○人物 金の賈少卿は通州の人なり。其の常遇春は通州の人なり。其の

○人物 金の賈少卿は通州の人なり。其の常遇春は通州の人なり。其の

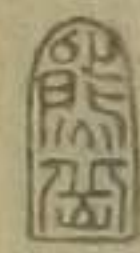
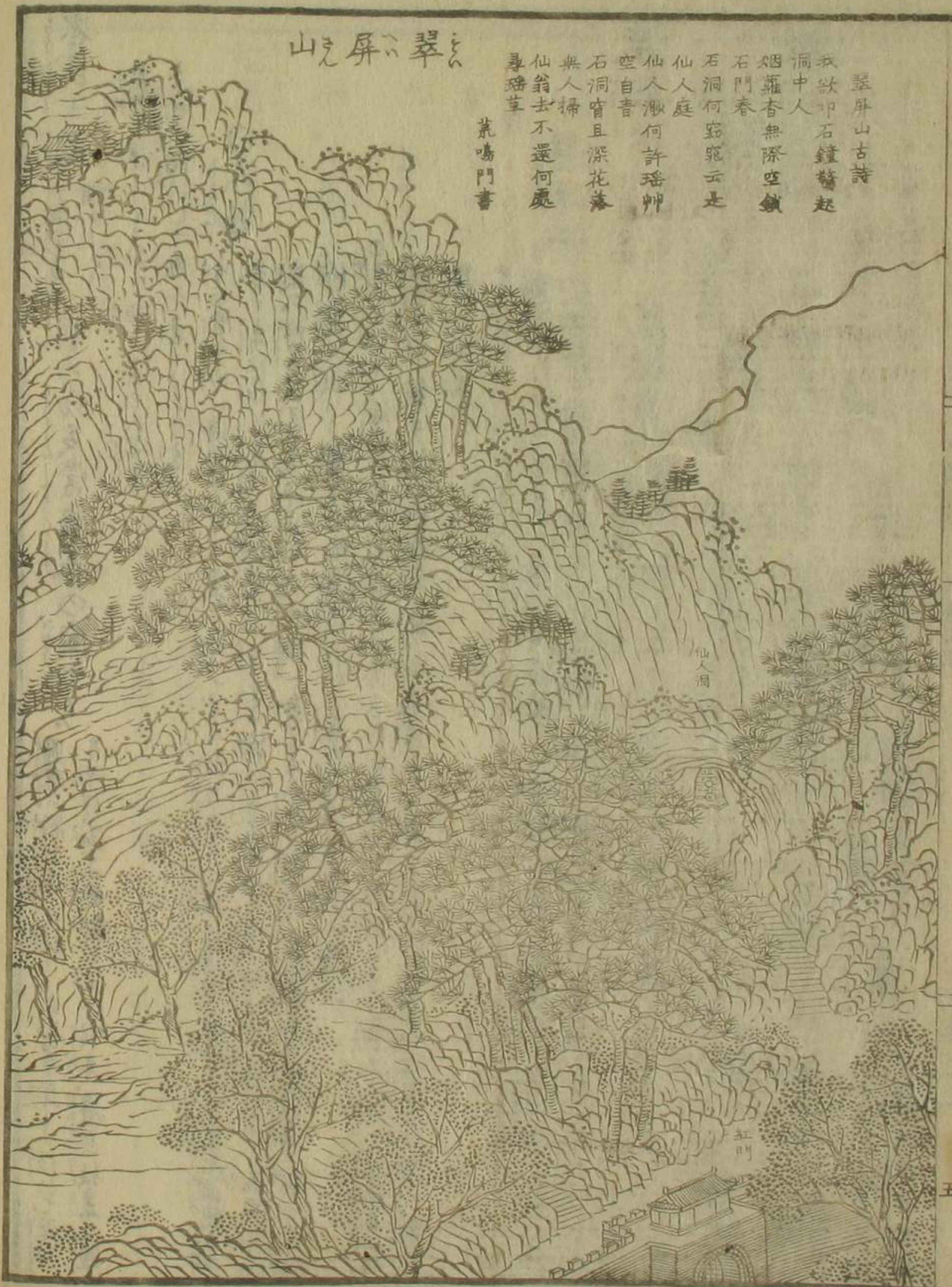
○人物 金の賈少卿は通州の人なり。其の常遇春は通州の人なり。其の

○人物 金の賈少卿は通州の人なり。其の常遇春は通州の人なり。其の

○人物 金の賈少卿は通州の人なり。其の常遇春は通州の人なり。其の

翠屏山古詩  
我欲叩石鐘聲起  
洞中人  
烟蘿杳無際空鎖  
石門春  
石洞何窈窕云是  
仙人庭  
仙人漱何許瑤艸  
空自香  
石洞皆且深花落  
無人掃  
仙翁去不還何處  
尋瑤草  
荒鳴門書

翠屏山



直隸

順天府

卷之五



續して踏みかきせり。○峯架山 卅の西二十里あり。後漢盧植此に居り。○牛山 卅の西あり。嵩山下に泉あり。○軍  
山 卅の西二十里あり。後漢盧植此に居り。○牛山 卅の西あり。嵩山下に泉あり。○軍  
都山 卅の西二十里あり。後漢盧植此に居り。○牛山 卅の西あり。嵩山下に泉あり。○軍  
峽山 卅の西二十里あり。後漢盧植此に居り。○牛山 卅の西あり。嵩山下に泉あり。○軍  
馬蹕山 卅の西南二十里あり。金の章宗の御所なり。○翠屏山 卅の南に  
とく 瀕池をなせり。名けて九龍池と云。池の上は亭臺あり。又仙人洞あり。この石門  
天成 して全く天成なり。門上の石は龍の形なり。石門の内は暗く石田あり。道はく深きは  
居庸關 卅の西にあり。○西山 文と詩一水旁に流る。南山に十里に跨り。此關懸崖峭壁。最  
要險 の地なり。○南山 重巒疊障。青と蒼あり。と云。蒼翠あり。○西山 文と詩一水旁に流る。南山に十里に跨り。此關懸崖峭壁。最  
山色 空より望む。○系師 八系の二居庸。疊障あり。と云。是なり。○仙人 枕居庸關の道傍。一巨石枕あり。○元 除家詩。居庸萬馬繞山前。未許蒼苔睡。  
狄仁傑 祠。卅の西にあり。元の大徳の神。奉を建。以明の正統三年。と云。これを新なり。

居庸關

重閣深巖白雲收天際  
 諸峯黛色流北極龍  
 沙通絕漢南臨風  
 關壯神少烟生睥睨  
 千巖曉霧濕芙蓉  
 第盤粒玉牽自應  
 萃五彩龍文長傍  
 日光浮明曾繁作  
 魯室主人書

居庸關



居庸關

第一關

莽々關山起暮愁  
亂雲層疊隱危樓  
雕弧控滿清宵月  
畫角吹殘紫塞秋  
旅夢無端空寂莫  
歸心何事更夷猶  
燕南碧岫還飛蝶  
已見桑乾帶雪流

子會一詩  
荒鳴門書



直隸

順天府

卷之五





漢昭烈廟

春秋大赦若承先  
祠殿中山此昭  
典一足三成帝業  
牛黃腹白應童謠  
欲信大義一貞亮  
遂定全秦志類蕭  
一或揮柔尚遺恨  
其如安樂自逍遙  
右就隆帝詩  
荒寺門書



永濟橋

卅歲り小巨  
馬河に架る

此橋明に叙る今河の流是南に徒ら空く橋の用と失つる流の

乾陽二十五車教

七彩橋と建る  
函州十八里と二百大石橋の南と北の心橋を以てし  
浦の橋とて西と東の心橋を以てし

新改の密に蒲葦岸と交り西の心橋と東の心橋を以てし  
新改の密に蒲葦岸と交り西の心橋と東の心橋を以てし

智度寺

卅歲り小巨  
寺中の柱基の遺蹟あり

善善寺

城東三里あり海國の寺と十六石基のありと云  
周圍二百歩函州の山川賦地一冠の地と云にあり

佑聖

人物

蜀の関羽の河東涿州の人なり人  
物にして春秋と関羽と  
命して涿郡と云る時と云る  
衆と云る美中の婦と云る  
と云る関羽張飛と云るに先き  
と云る先を関羽の二人関と  
兄弟のいし巴蜀と云る小  
で羽と拜して若お軍と云る  
卅の漢と云る威華と云る  
女と云る長と云る

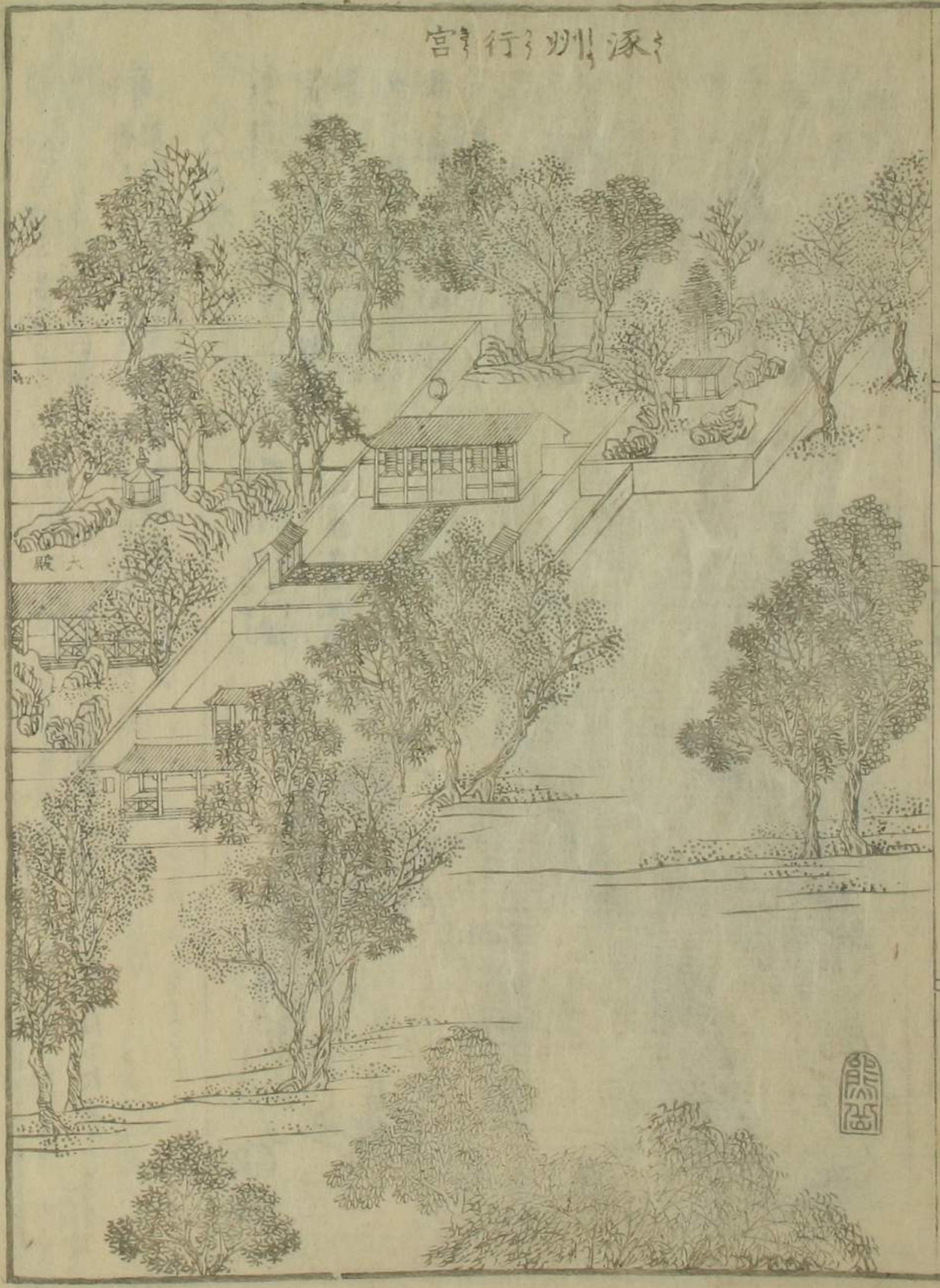
蜀開羽之像

縮模馬元秋圖

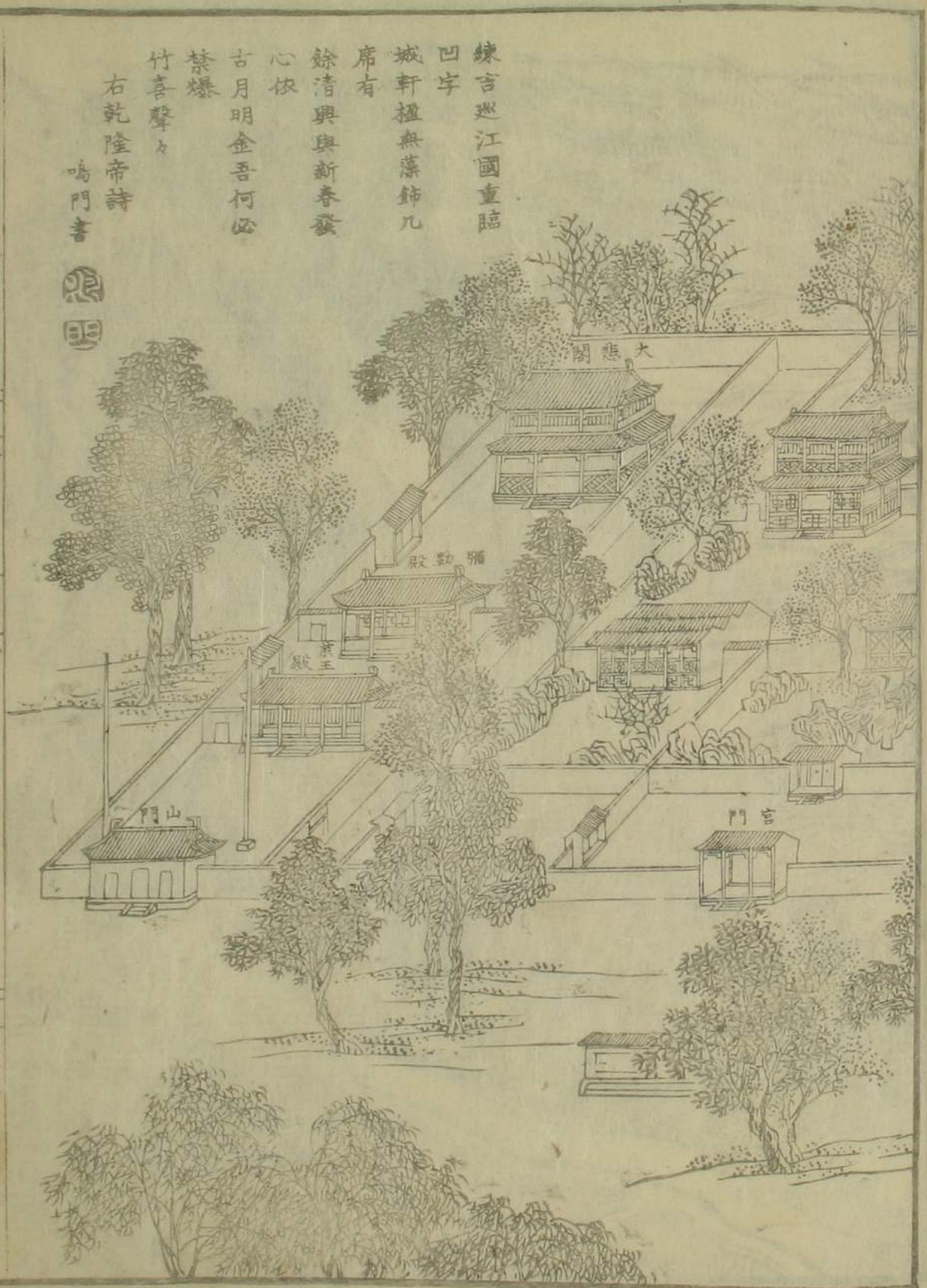


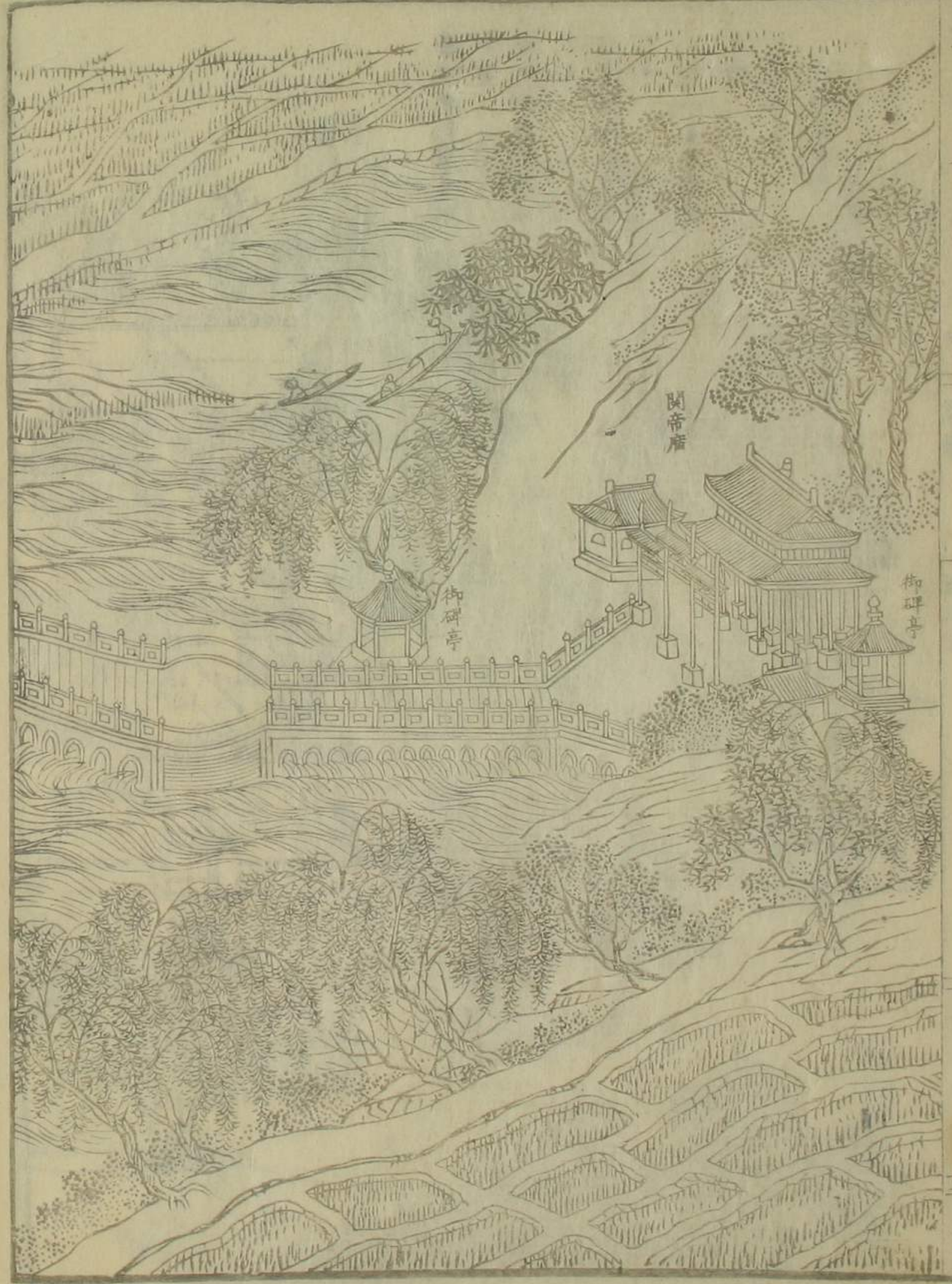
叔曹孟放所以義人  
関亮以打廻る洛陽  
火を起す其後不辨  
於美韓公全孝王振  
紀五則漢王

涿州行宮



練言巡江國重臨  
 四字  
 城軒極無藻飾凡  
 席有  
 餘清興與新春發  
 心依  
 古月明金吾何必  
 禁爆  
 竹喜聲  
 右乾隆帝詩  
 鳴門書



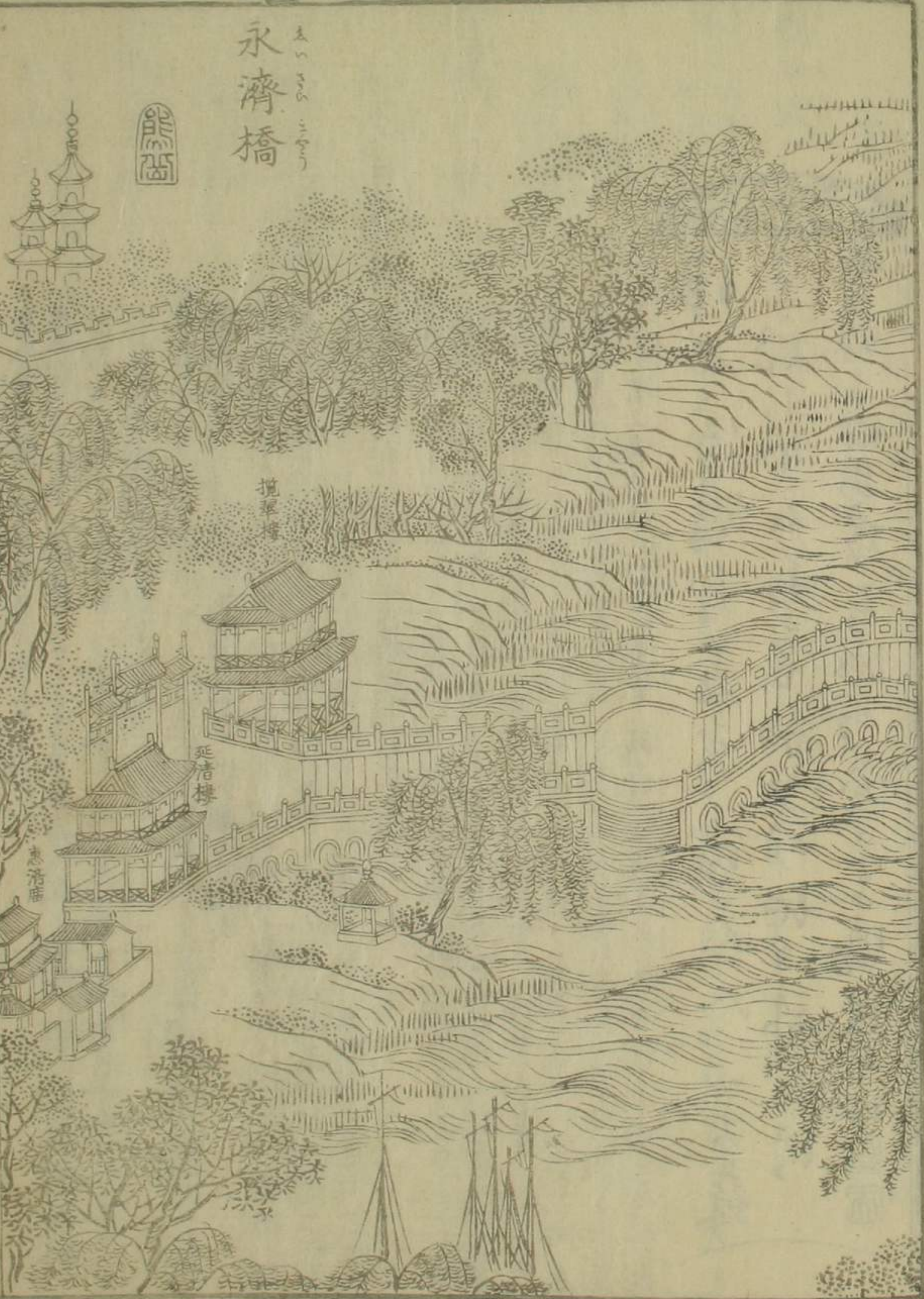


關帝廟

御碑亭

御碑亭

永濟橋



熊面

攬軍樓

延清樓

惠濟廟

直隸

順天府

卷之五

○蜀の簡雍の孫漢陽の人なり。

○南山朝の成景衡の漢陽の人なり。漢陽、即漢州也。魏の天監中常景衡とて著書あり。魏の末高祖の朝に著書あり。其の著書を著し。魏の末高祖の朝に著書あり。其の著書を著し。

○南朝の盧勣漢陽の人なり。後周の末高祖の朝に著書あり。其の著書を著し。魏の末高祖の朝に著書あり。其の著書を著し。

○漢の張芝漢陽の人なり。張芝、字伯英。西漢の末高祖の朝に著書あり。其の著書を著し。魏の末高祖の朝に著書あり。其の著書を著し。

○漢の張芝漢陽の人なり。張芝、字伯英。西漢の末高祖の朝に著書あり。其の著書を著し。魏の末高祖の朝に著書あり。其の著書を著し。



漢の張芝漢陽の人なり。張芝、字伯英。西漢の末高祖の朝に著書あり。其の著書を著し。魏の末高祖の朝に著書あり。其の著書を著し。

鄂州

順天府の南二十里あり。漢代此地を陽都郡と屬し。唐の末高祖の朝に著書あり。其の著書を著し。魏の末高祖の朝に著書あり。其の著書を著し。

南山

○莫金山 卅の南十八里あり。莫姓の人と。○莫金山 卅の南十八里あり。莫姓の人と。○莫金山 卅の南十八里あり。莫姓の人と。

鼎の峙

○雁頭山 卅の東南三十里あり。此山 九河のあり。此山、雁頭山と名す。其の山、雁頭山と名す。

州城

州城より京に別間二百餘里。其間、陂流せり。河水最多し。拒馬河、瓦河、沙河、滎河、交河、通濟河等、つらへり。燕趙の間に、滎河と名す。其の河、滎河と名す。

河

河、滎河と名す。其の河、滎河と名す。其の河、滎河と名す。其の河、滎河と名す。其の河、滎河と名す。其の河、滎河と名す。

州城

州城の長、三百餘里。多く、榆柳を植て、長堤の固めとせり。州城の長、三百餘里。多く、榆柳を植て、長堤の固めとせり。



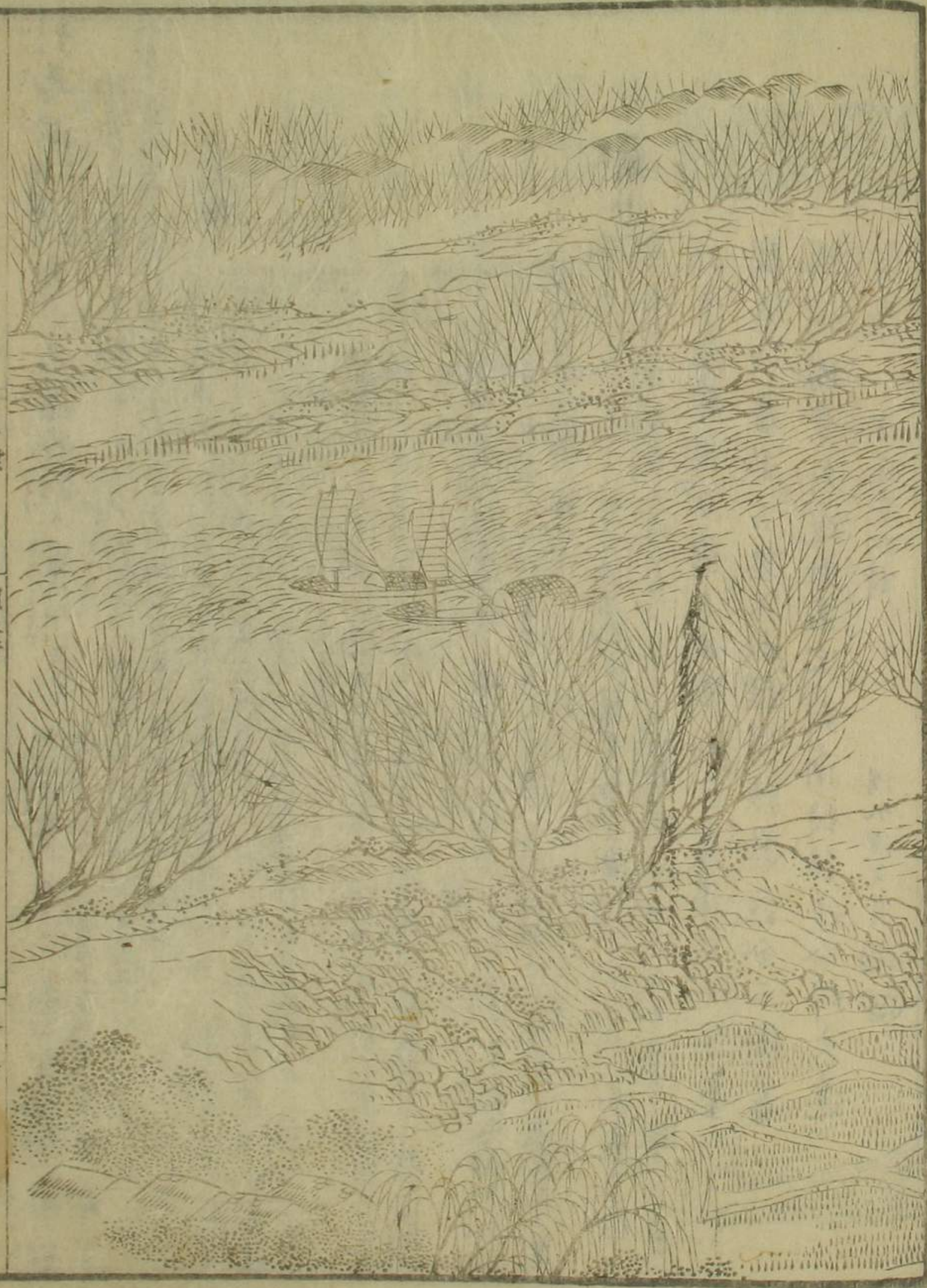
長堤



直隸

順天府

卷之五





盤山



蒼松亂插連雲石  
石上苔痕屐行跡  
拄杖來從飛鳥遠  
下視蒼茫遠烟碧  
智朴盤山詩



遠山



直隸

順天府

卷之五



郊勞臺

過郊臺  
 庚辰曾是勞旋師  
 卽 旣臺陳得勝  
 旗自此西瀛蓋來  
 賀在循南路引餘  
 恩固資衆力成歎  
 績實藉元戎善指  
 麾享澤何期野其  
 尾不禁觸境一生  
 悲

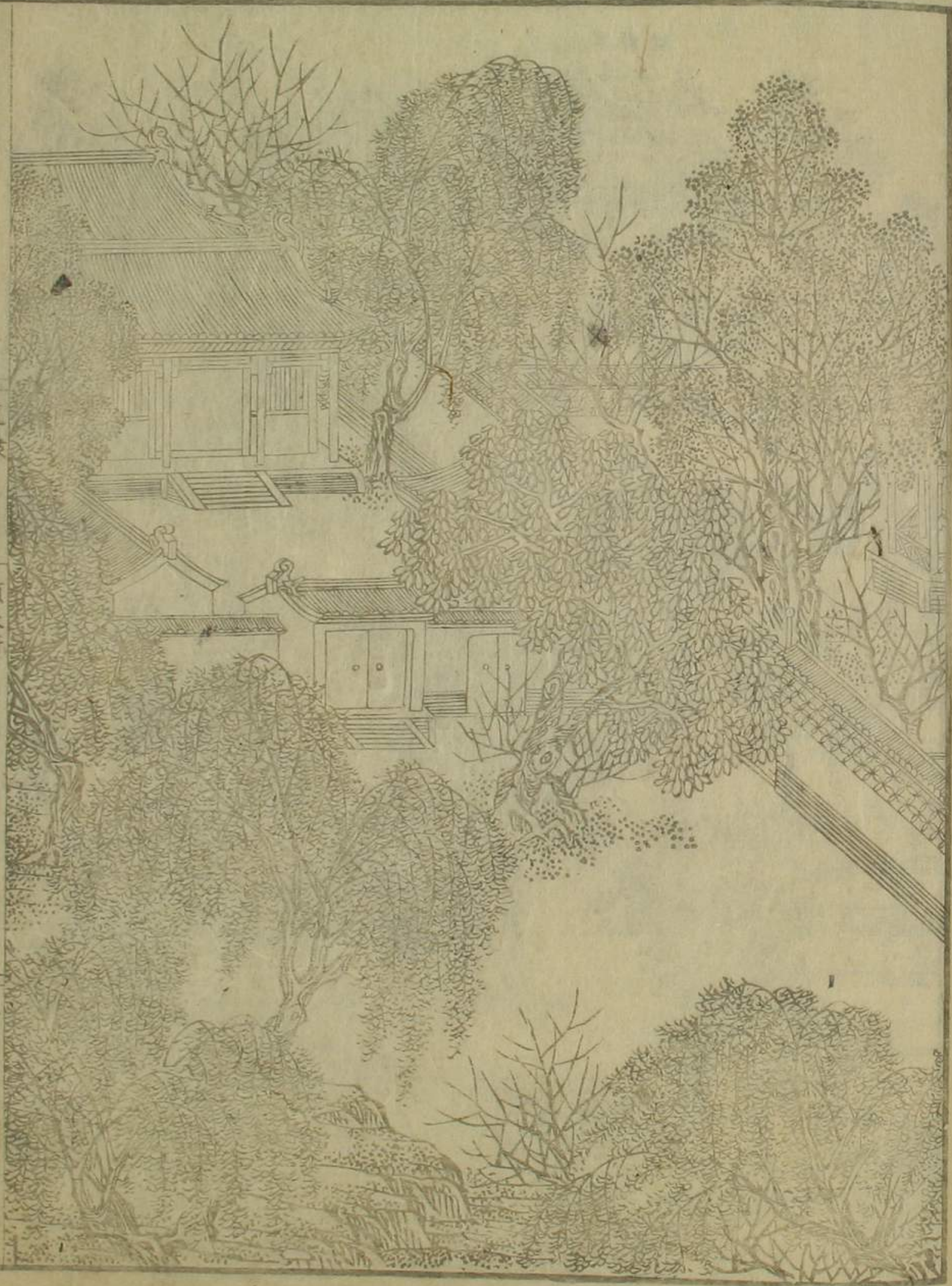
右乾隆帝詩  
 鳴門書



直隸

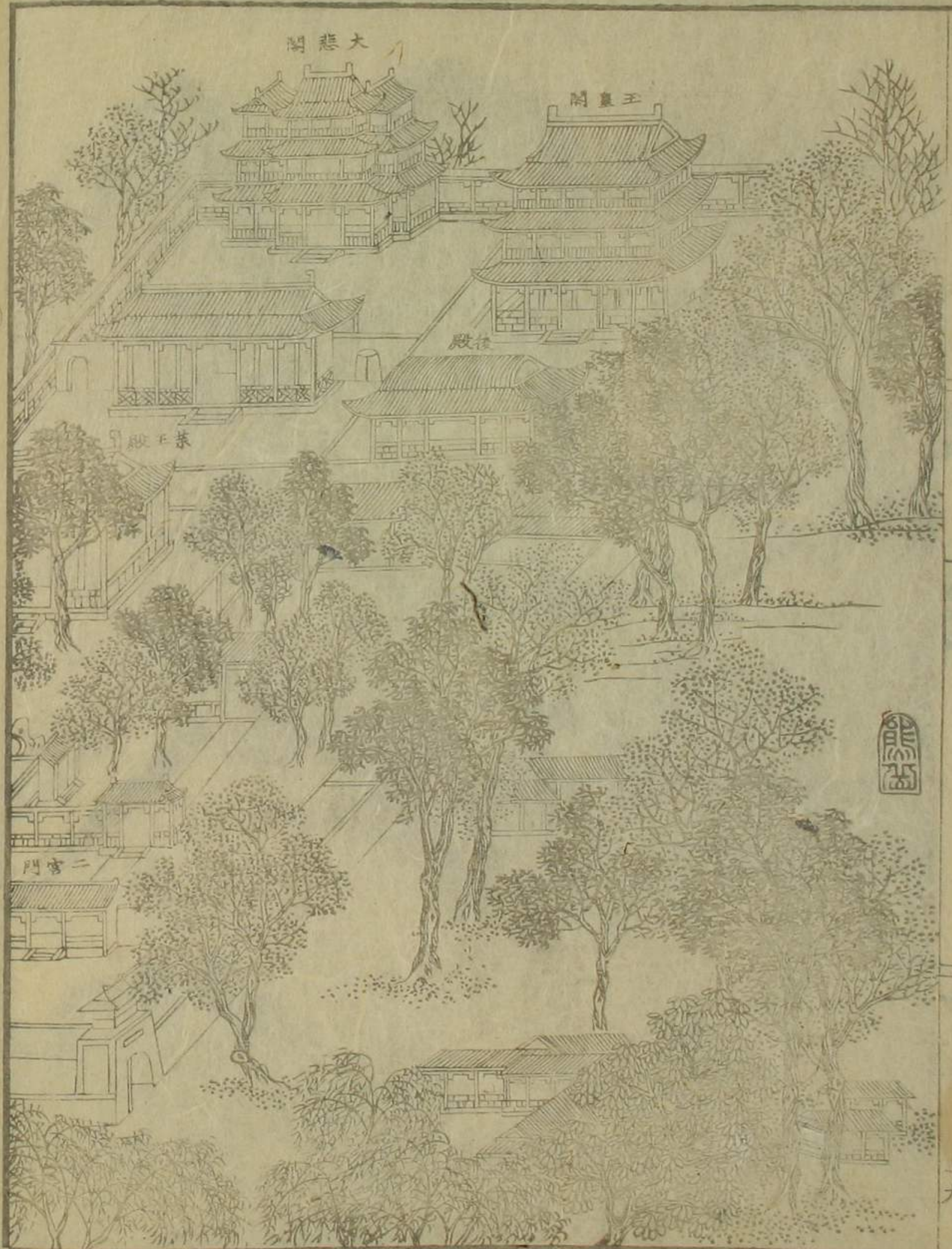
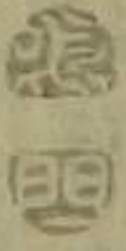
順天府

卷之五



宏恩寺

遠瞻古樹 蒼小憩禪房 竊來柱頭橫 鉅新景倍 好右乾隆帝





菊城二屯以後四碑がたれぬ宮せらるる此は藝也

○人物

金の劉徽素の安次縣の人なり進士第一。洪州の令もあつた。明敏なり。其の跡を後世に遺りて其の徳を頌せり。後同知河東南治の轉運使とある。蘇軾の詩に劉徽素の徳を頌せり。蘇軾の詩に劉徽素の徳を頌せり。

香河縣

府の東南二百二十里あり。武清縣の地なり。遼世に權臣の地なり。香河縣と名する。遼世に權臣の地なり。

板橋河

縣の西あり。源山

駱駝港

縣の北あり。源三河縣の北あり。源三河縣の北あり。

百官河

縣の北あり。源三河縣の北あり。

水源と知れぬ。水過此則人百余家。水過此則人百余家。水過此則人百余家。

三河縣

通州縣の北七十里あり。漢の涿郡縣の地なり。唐武宗のとき、三河縣と名する。遼世に權臣の地なり。

七渡河

一名黃頰水。其源順義縣の黃頰水なり。其源順義縣の黃頰水なり。

雲山

縣の北あり。源三河縣の北あり。

華山

縣の北あり。源三河縣の北あり。

聖水山

縣の北あり。源三河縣の北あり。

武清縣

通州縣の南八十里あり。漢の廣奴縣と名する。唐の天寶の時に武清縣と改む。其の源順義縣の黃頰水なり。

三角渡

源范疇の南あり。出て王家院河及び劉道河に合流して西南流。合流して西南流。合流して西南流。

河東見里河

源范疇の南あり。出て王家院河及び劉道河に合流して西南流。合流して西南流。合流して西南流。

直沽

縣の東南あり。源三河縣の北あり。源三河縣の北あり。

楊村

縣の南八十里あり。西の安沽港に合流して西南流。合流して西南流。合流して西南流。

新河

縣の西あり。源三河縣の北あり。源三河縣の北あり。

教百畝

縣の南あり。源三河縣の北あり。源三河縣の北あり。

崔氏園亭

縣の西南あり。源三河縣の北あり。源三河縣の北あり。

瞭鷹臺

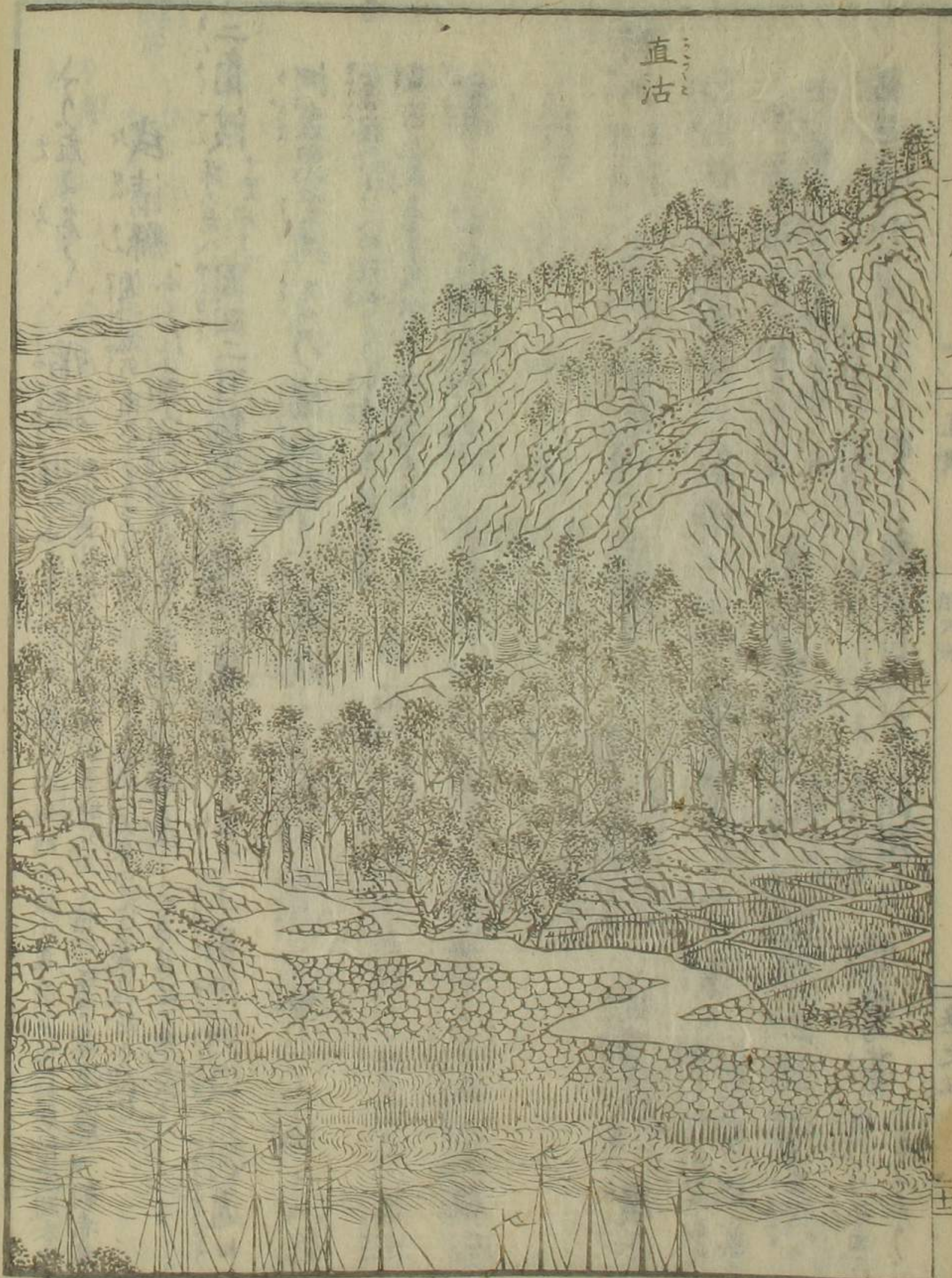
縣の北あり。源三河縣の北あり。源三河縣の北あり。

圖亭

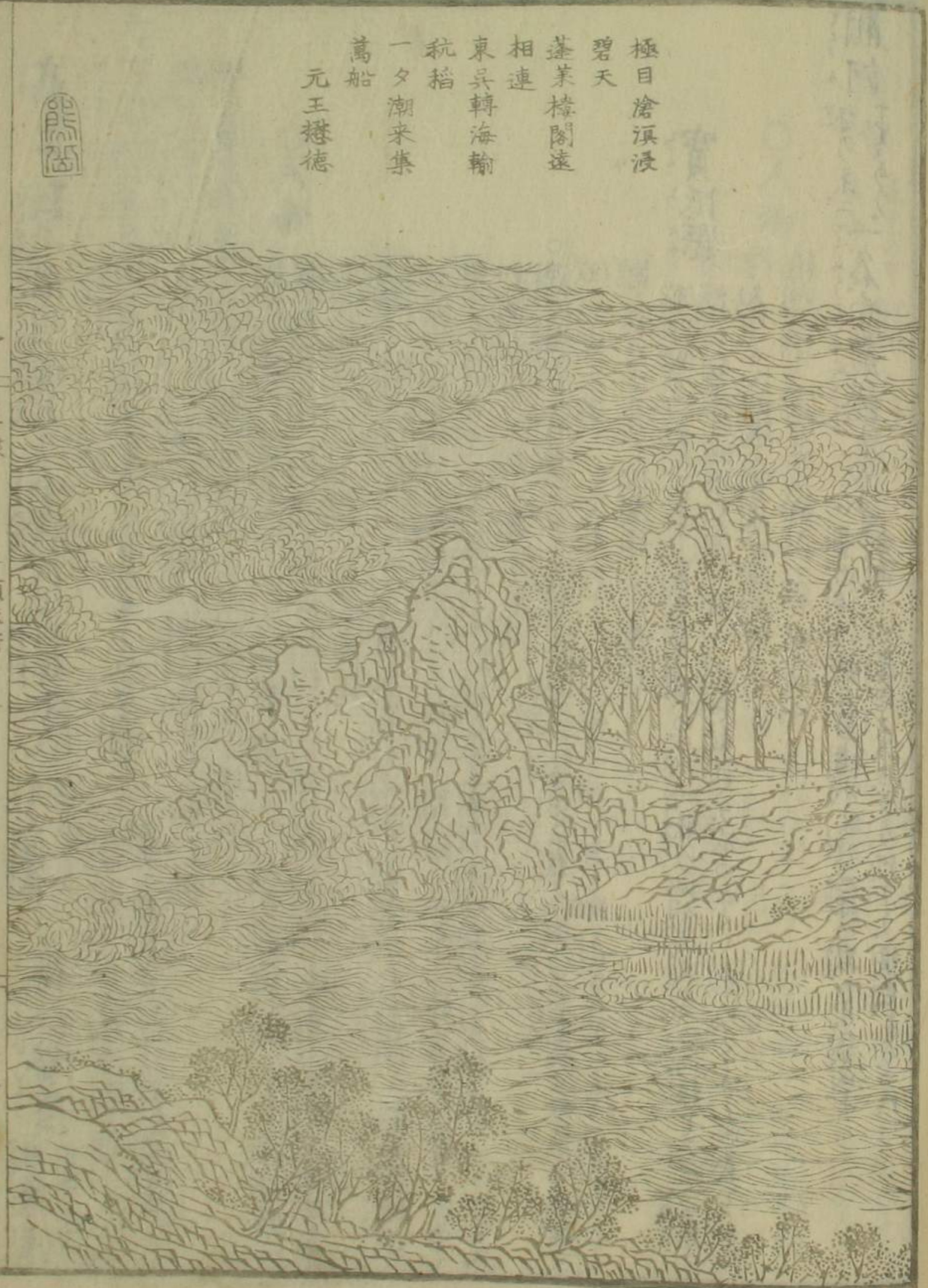
縣の北あり。源三河縣の北あり。源三河縣の北あり。



直沽



極目滄溟浸  
碧天  
蓬萊樓閣遠  
相連  
東兵轉海輸  
航稻  
一夕潮來集  
萬船  
元王懋德



直隸

順天府

卷之五

高と十教大周回一頂上よ令代の石碑あり。令人遊撮。○得仁務陵味香の墓の東あり

三塚相尋も土其極て出久。其下よ右洞あり。洞中暗く我人燭をたて洞中よ入。海く壘まのさうはに教里はして

忽ち火の光ありて明らかり。種々の器物什物後よほりたり。蓋し之を

○人物 漢の陽城漢陽泉州の人なり。若輩に奉られて尚書侍郎と調く。司隸校尉と

遷孔曉り中常侍王甫等共虐やて殺し。中外と廟勅以疎奏して南宮殺

十人を獄に下し。盡しこれと流火。

○三國の同僚の漢奴の人なり。魏に仕へて七陽のを奉り。又南陽に遷る。漢書師

監法に南陽の殿内書郎なり。後魏て儒尉とみたり。後漢に遷る。魏に仕へて

中司馬に乃曰く奉高七十九て後よ奉る。漢に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて

先魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。

○遼の張澄は漢の人なり。海内を遊歴し。周易を撰し。徵り教を授けり。後魏に

仕へて其書を撰し。後魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。

○通州城乃東南二百二十里あり。漢の泉州城の地金の大安の同族とて。宣統と

潮河 録の東ニ一石白龍港あり。潮河洶河龍丘の渚水と傳へ。録の男方。三又曰

寶坻縣

通州城乃東南二百二十里あり。漢の泉州城の地金の大安の同族とて。宣統と

廣濟寺 録里の中 遼の重熙五年より

○人物 遼の重熙年中常在とて者あり。宣統に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。

菴をいじり。後を抄りて佛を仕へ。心を磨き。道に入。魏の後漢中よ。魏に仕へて

茶毘の日身史を撰し。後魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。

日を傳て其書再ひ生れ。人奇異なり。魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。

○令の馬憲は宣統の人なり。進士に奉らる。永清の令とあり。後を抄りて佛を仕へて

又遷る。世宗に奉らる。明教と稱し。魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。

○令の李延は宣統の人なり。祖書を撰り。魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。

魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。

○胤の劉英は宣統の人なり。洪武の同山西。魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。

魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。

○胤の劉英は宣統の人なり。洪武の同山西。魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。

魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。

○胤の劉英は宣統の人なり。洪武の同山西。魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。

魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。魏に仕へて後魏に遷る。

寧河縣

宣統の東西八十里有。明代此縣と改る。宣統の東西八十里有。明代此縣と改る。

紅心漫

録の東南百二十里あり。秦の始皇帝の墓とあり。宣統の東西八十里有。明代此縣と改る。

蘆基

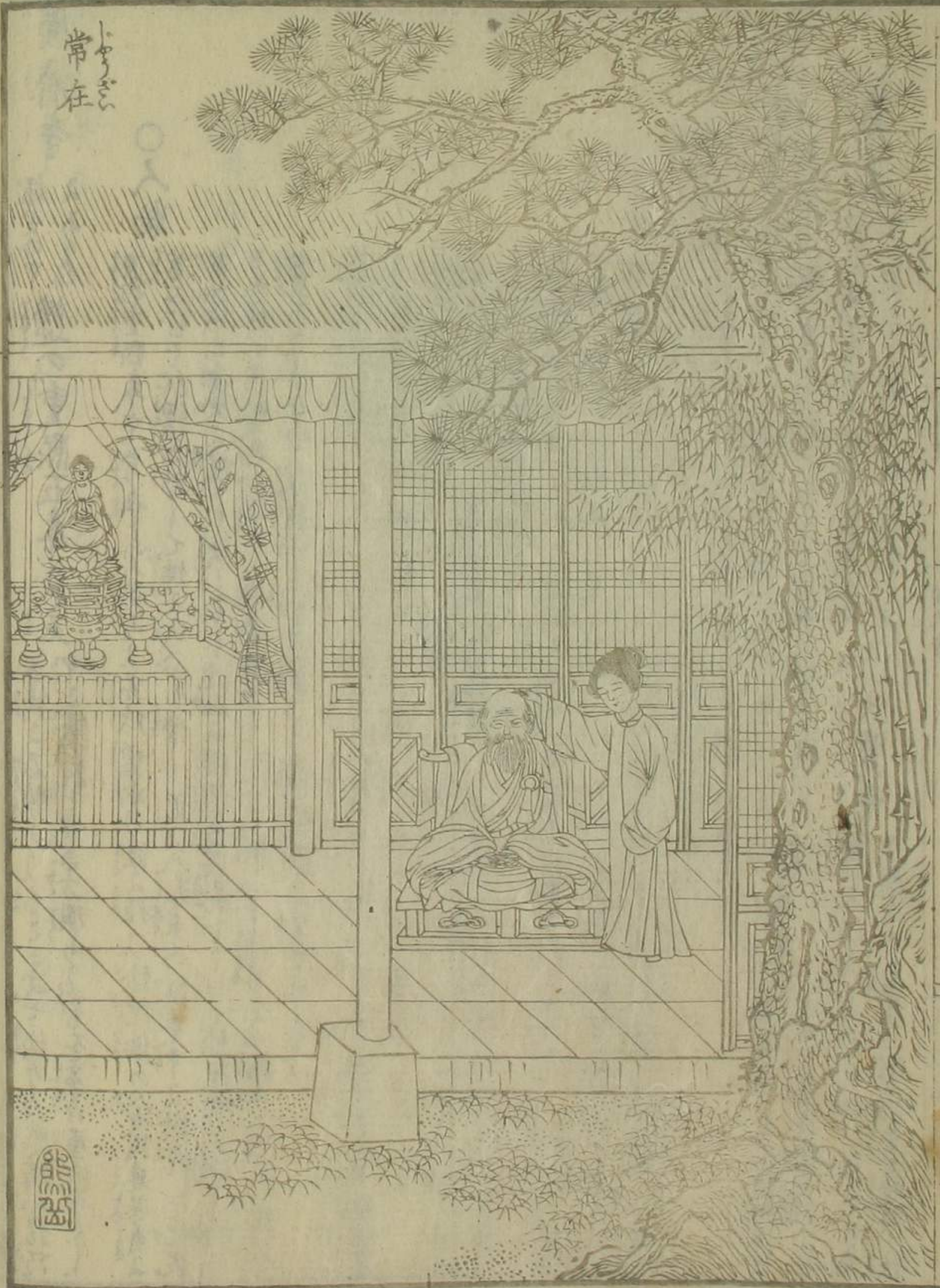
録の東南八十里有。後魏の劉守光の墓とあり。宣統の東西八十里有。明代此縣と改る。

歌馬基

録の東門より南あり。宣統の東西八十里有。明代此縣と改る。

大覺寺

録の東門より南あり。宣統の東西八十里有。明代此縣と改る。



常在

順義縣

昌平州の東北二十里あり。秦の上谷郡の地。齊始て津德郡と改。隋改りて順州と改。明の洪武の始。順義縣と改。清乾隆元年。編入。在。七。里。

濕餘水

縣の西南と流。是て流河と云。

孔山

縣の南あり。山上。洞窟あり。同。名。を。有。す。

龍山

縣の南二十里あり。山上。龍泉あり。龍泉山と云。

桐山

縣の北二十里あり。山の峰あり。桐あり。桐山と云。

吟奴山

縣の北二十里あり。山上。吟奴あり。吟奴山と云。

人物

極志仙人。檀州の人なり。赤竹。着。道。と。云。山。は。悟。り。て。三。十。餘。年。坐。して。死。す。遺。體。を。石。に。化。す。と。云。人。故。く。檀。州。の。名。山。と。云。檀。州。の。名。山。と。云。檀。州。の。名。山。と。云。

密雲縣

昌平州の東北二十里あり。檀州の南あり。後魏の時に密雲郡と改。北魏の時に密雲縣と改。隋の時に密雲縣と改。唐の時に密雲縣と改。宋の時に密雲縣と改。明の時に密雲縣と改。清の時に密雲縣と改。

廣淵水

縣の東あり。水淵山の下より。出。て。流。す。と。云。

道人溪

縣の東あり。石盤谷の内に龍潭あり。百。歩。計。は。して。水。を。盤。谷。の。如。く。流。す。と。云。龍。潭。と。云。

密雲山

縣の南二十里あり。山上。密雲あり。密雲山と云。

白檀山

縣の南二十里あり。山上。白檀あり。白檀山と云。

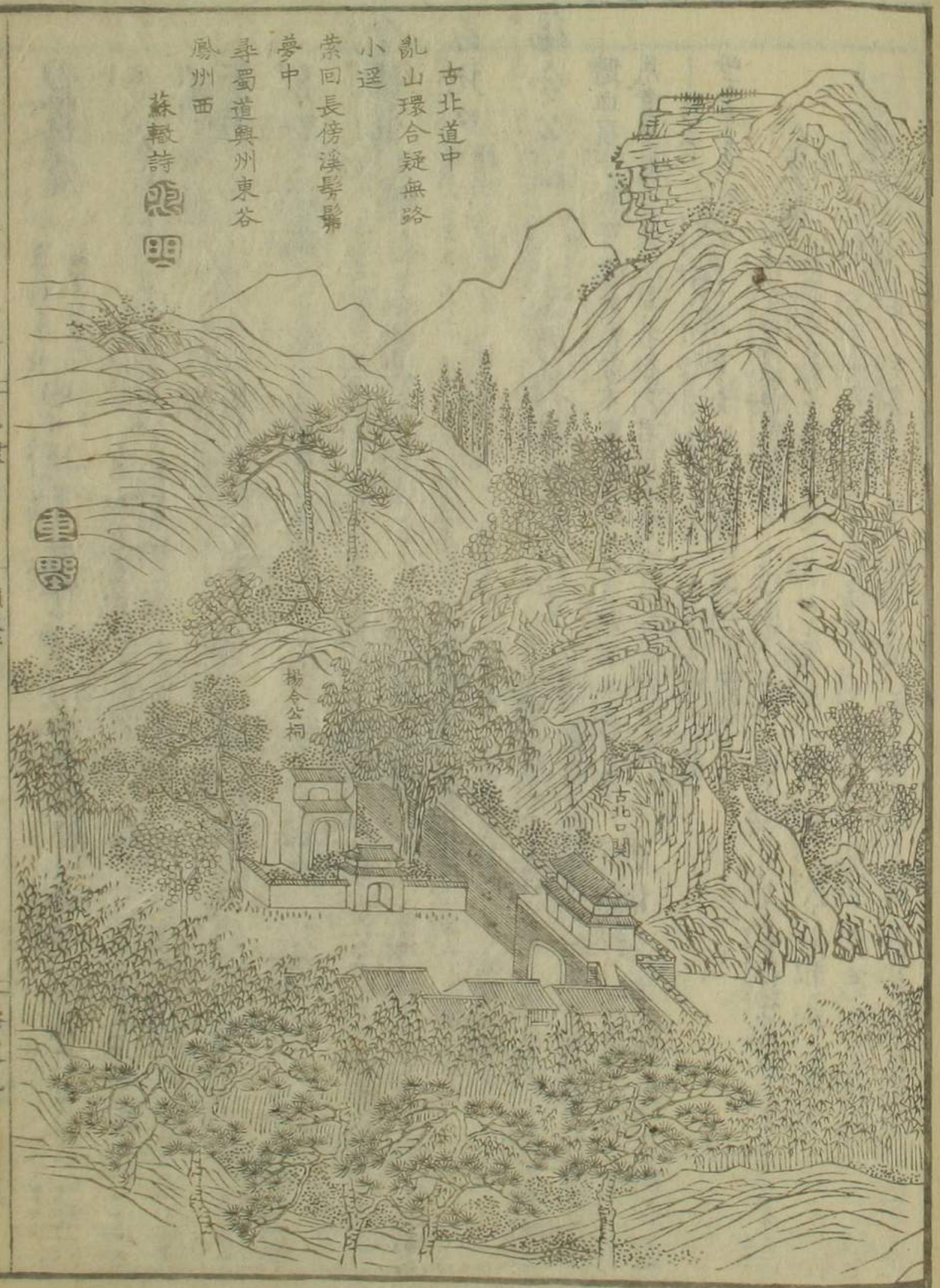
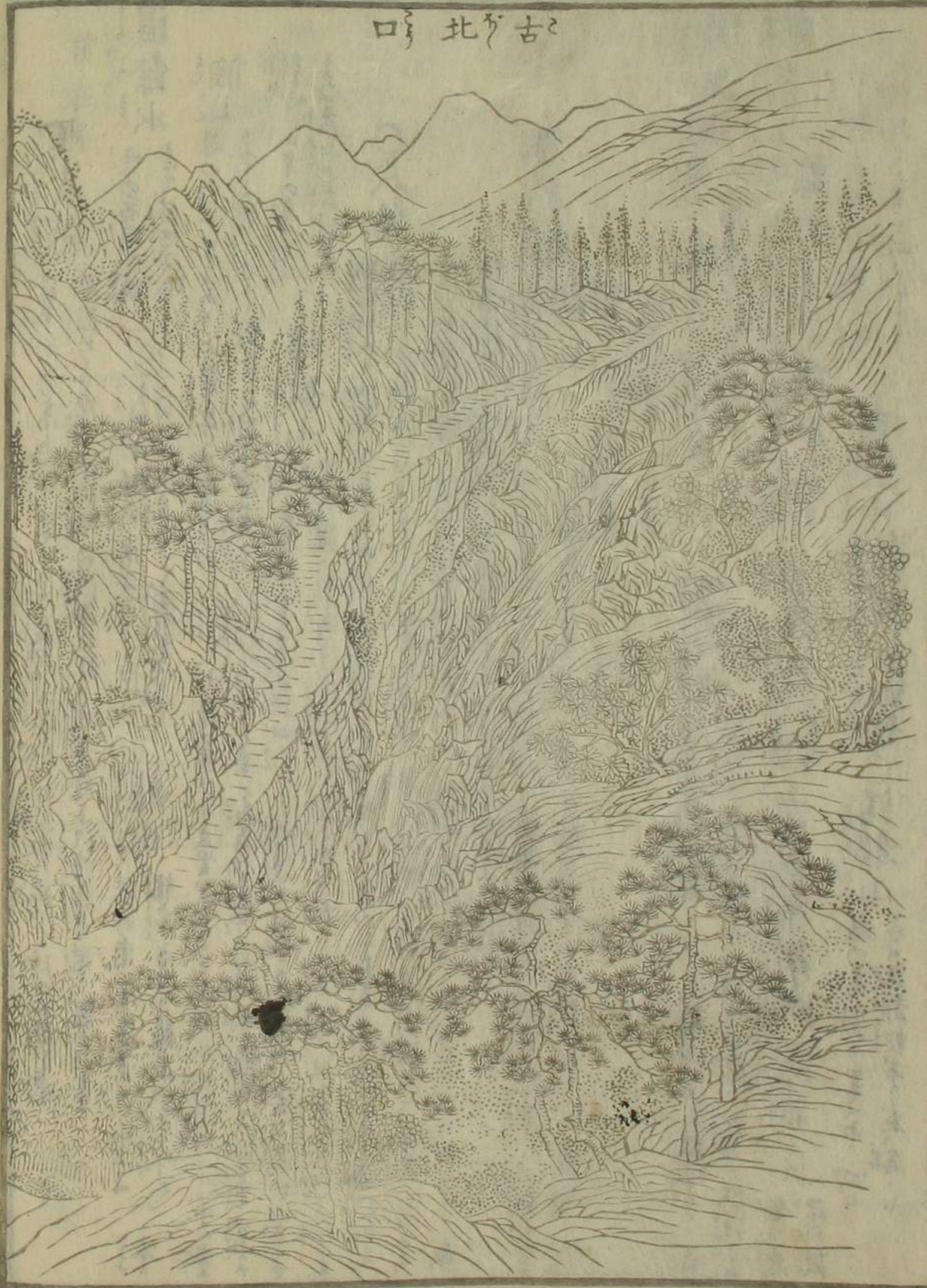
香陞山

縣の東あり。山上。香陞あり。香陞山と云。

法都山

縣の東あり。山上。法都あり。法都山と云。

古北口



古北道中  
亂山環合疑無路  
小徑  
紫回長傍溪髮髻  
夢中  
尋蜀道與州東谷  
鳳州西  
蘇轍詩



野誓山

懐柔縣の山界あり  
嶺を有し、詩に、  
野誓の山、王の玉皇廟  
ありて、人民、祈禱を  
す。山、必、靈、也、  
と云。



直隸

順天府

卷之五

灵秀嶽將前  
接巖  
雲流未了意  
雲百  
玉皇殿覽千  
年百  
登此入天上  
界山

樓松堂  
印

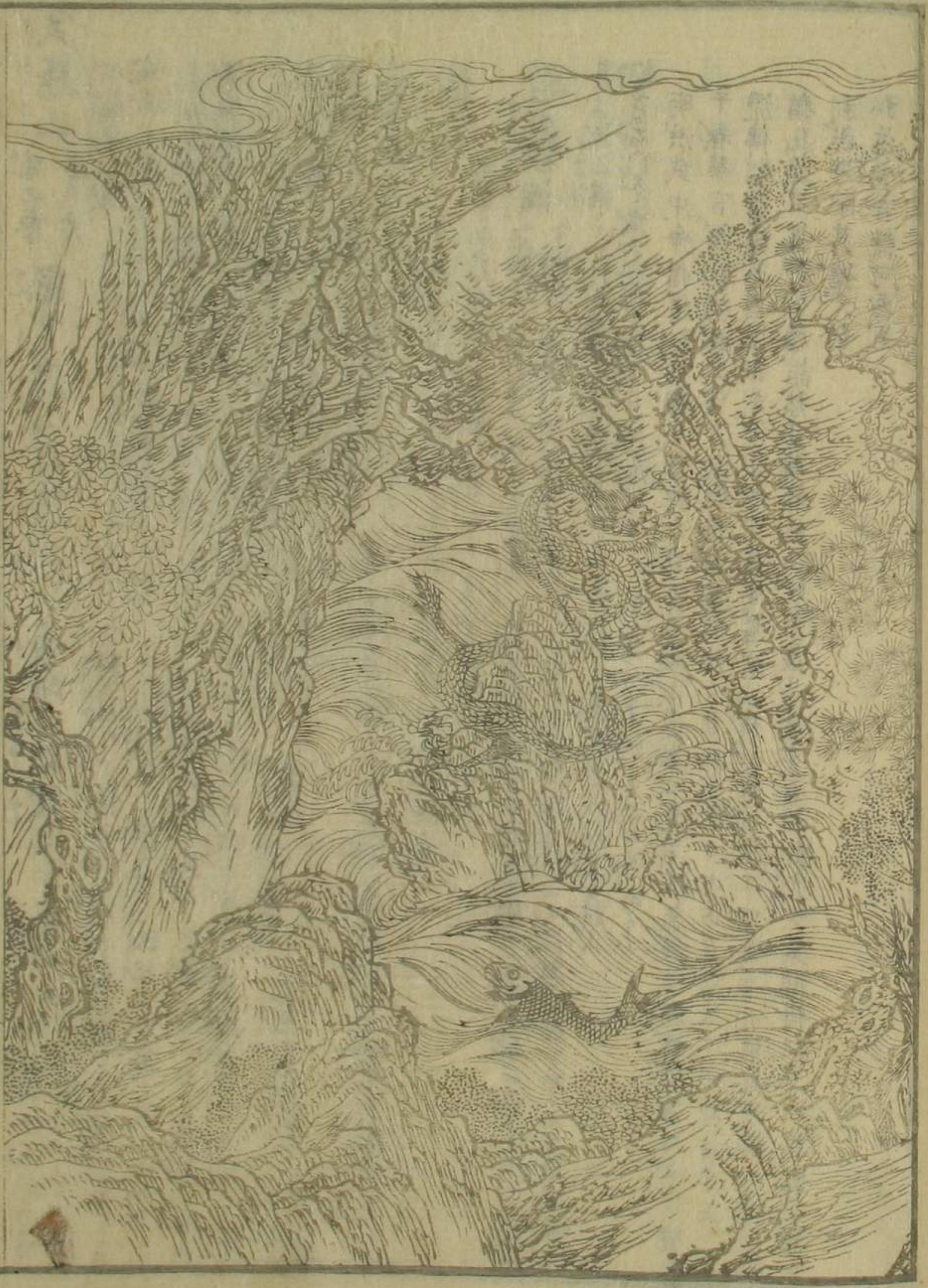


孔水洞



龍

天



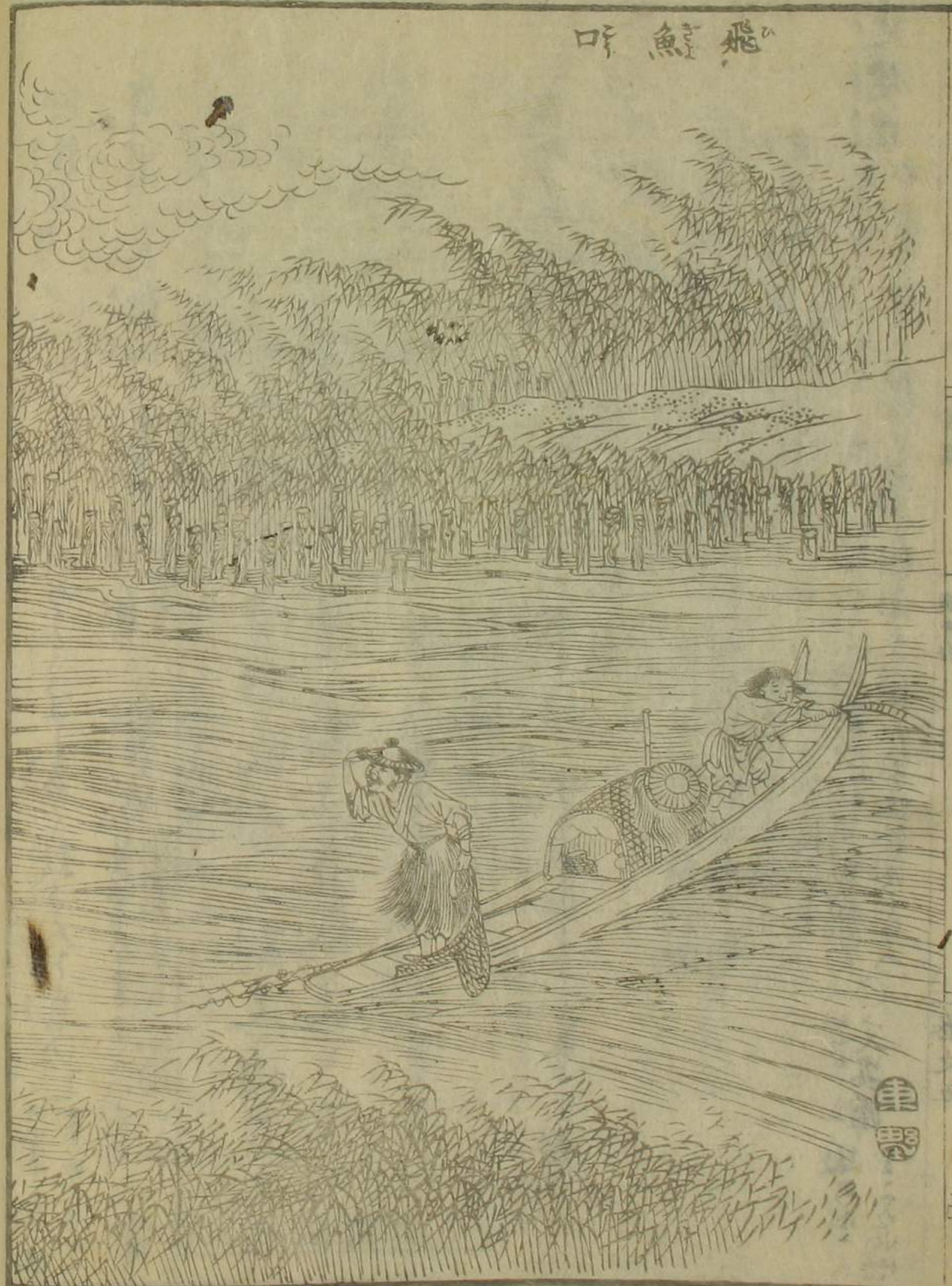
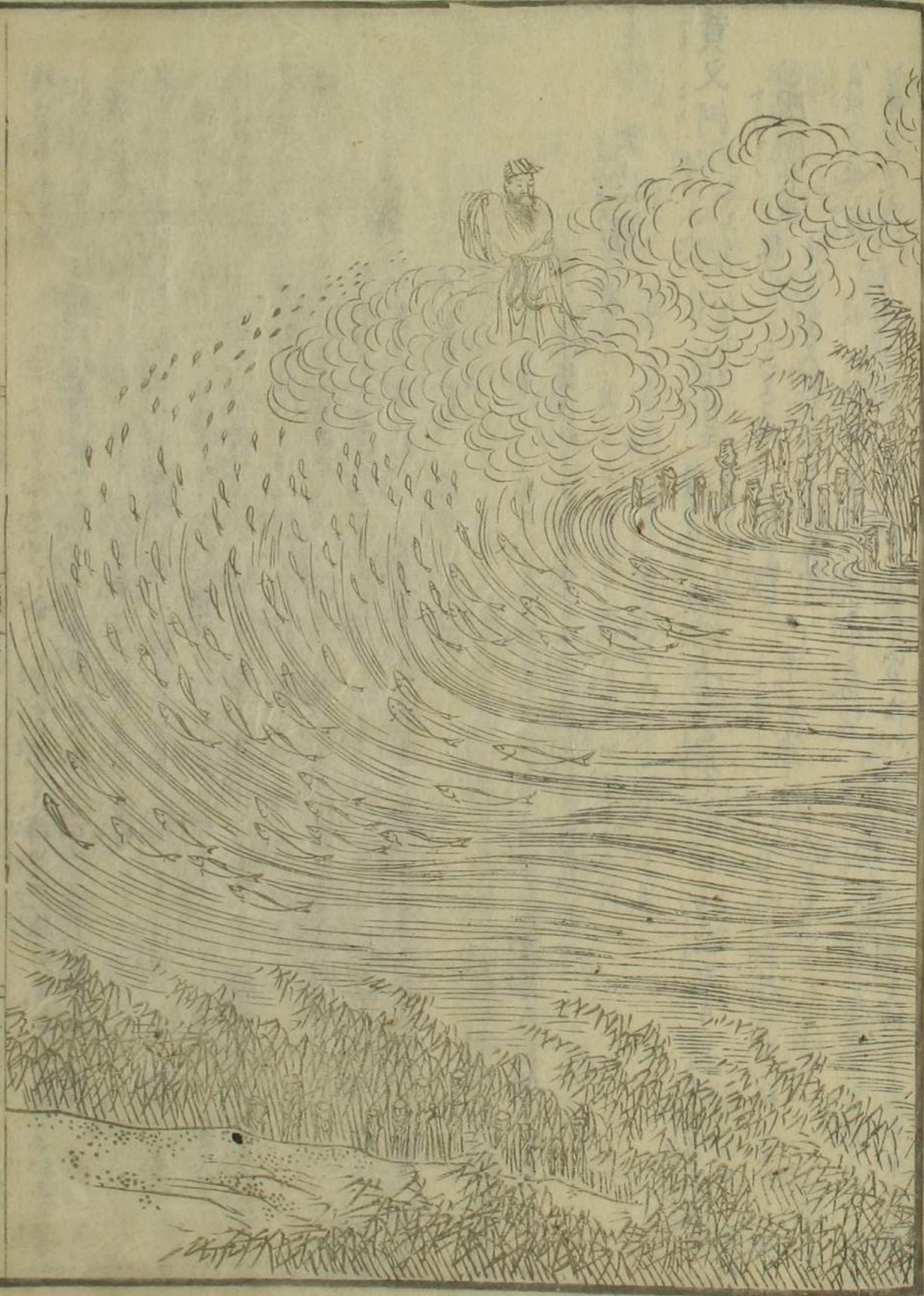
直隸

順天府

卷之五







車豐

唐土名勝圖會 卷之五 直隸 順天府

○人物  
 後周の周惠達、文安の人なり。文帝の附馬、尚書僕射、封、附、右、軍、創、私、泉、鉄、鑄、り、憲、違、舊、章、と、被、奏、し、優、札、削、使、る、於、獄、に、居、ま、り、謙、退、し、み、下、り、喜、ん、良、吏、を、接、し、處、附、を、重、ん、ん、  
 ○石の王伯勝、文安の人なり。懿州と滎州を兼、并、す、の、真、を、増、帥、と、擇、で、ん、と、教、令、を、向、回、を、怒、り、或、を、募、耕、種、し、て、これ、を、稟、輸、し、と、り、て、大、都、留、守、し、凡、遠、湯、の、民、割、こ、を、と、む、つ、ふ、る、に、依、り、皆、獲、得、し、て、去、る、年、を、小、以、て、勸、國、公、と、追、封、す、  
 滎州の南、二百三十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○大城縣  
 滎州の南、二百三十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○黃義河  
 滎州の東、十里あり。

○風凰臺  
 滎州の南、十里あり。周、の、石、軌、に、  
 ○仙人洞  
 滎州の東、十里あり。洞、の、深、さ、百、餘、丈、あり。洞、の、口、を、封、す、と、い、ふ、傳、説、あり。

○保定縣  
 滎州の南、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○平谷縣  
 滎州の西、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○周村河  
 滎州の南、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○陵方りりりり  
 滎州の南、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○瑞屏山  
 滎州の南、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○摩馬臺  
 滎州の南、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○摩教臺  
 滎州の南、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○石鼓臺  
 滎州の南、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○看花臺  
 滎州の南、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○秦志子墓  
 滎州の南、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○王右軍祠  
 滎州の南、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○孝順池  
 滎州の南、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○石鼓臺  
 滎州の南、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○看花臺  
 滎州の南、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○摩馬臺  
 滎州の南、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○摩教臺  
 滎州の南、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○石鼓臺  
 滎州の南、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。

○看花臺  
 滎州の南、十里あり。漢、平、平、縣、と、い、ふ、代、の、附、令、の、名、を、改、む、を、以、て、名、を、置、し、後、に、後、漢、の、編、に、二十里あり。



金花公主墓

縣の東二十里馬家莊  
あり金花公主の墓の章  
字の女なり其墓面の山  
相抱さる崖のけりなりと  
繁て穴なる洞窟と名  
ふ施して窟を築け其や  
うは梅子のやと引て流  
へり其作と測さるり



龍泉

縣の北十五

里

文

帝此碑

碑の甘

龍泉の

龍泉の



保定府

此地禹貢の冀州の域なり。戦國の時、趙は屬し、秦は上谷、鉅鹿の二郡と漢の涿郡及び信都、中山國の地なり。晋は范陽、屬し、後魏は樂浪、北平、上谷郡の地とせり。隋は上谷、博陵、河間、の三郡を屬し、始めて涿郡縣と此を置唐、改めて此地と、莫定、滿瀛、の州と名し、五代の晋は割て契丹に屬せしめ、此を秦州と名す、宋は保塞軍と置、令は順天軍と改む、元の初、保州と名し、易で改めて順天路と名し、至元の初、保定路と改む、明の洪武元年、保定府と改め、清朝は之に依り、府治は涿郡縣に置、祁州、安州、涿郡縣、滿城縣、安肅縣、定興縣、新淦縣、唐縣、博野縣、都縣、容城縣、完縣、蠡縣、雄縣、束鹿縣、高陽縣、新安縣、以上三州十五縣、保定府に屬する所なり。

又、漢は涿郡縣と名す、唐は涿郡縣と名す、宋は涿郡縣と名す、明は保定府に屬する所なり。易州と名す、直隸州と名す、保定府に屬する所なり。保定府治は、秦河間府の靜海縣の界、以上易州、涿郡縣、保定府を首にして、三州十五縣の制なり。

直隸

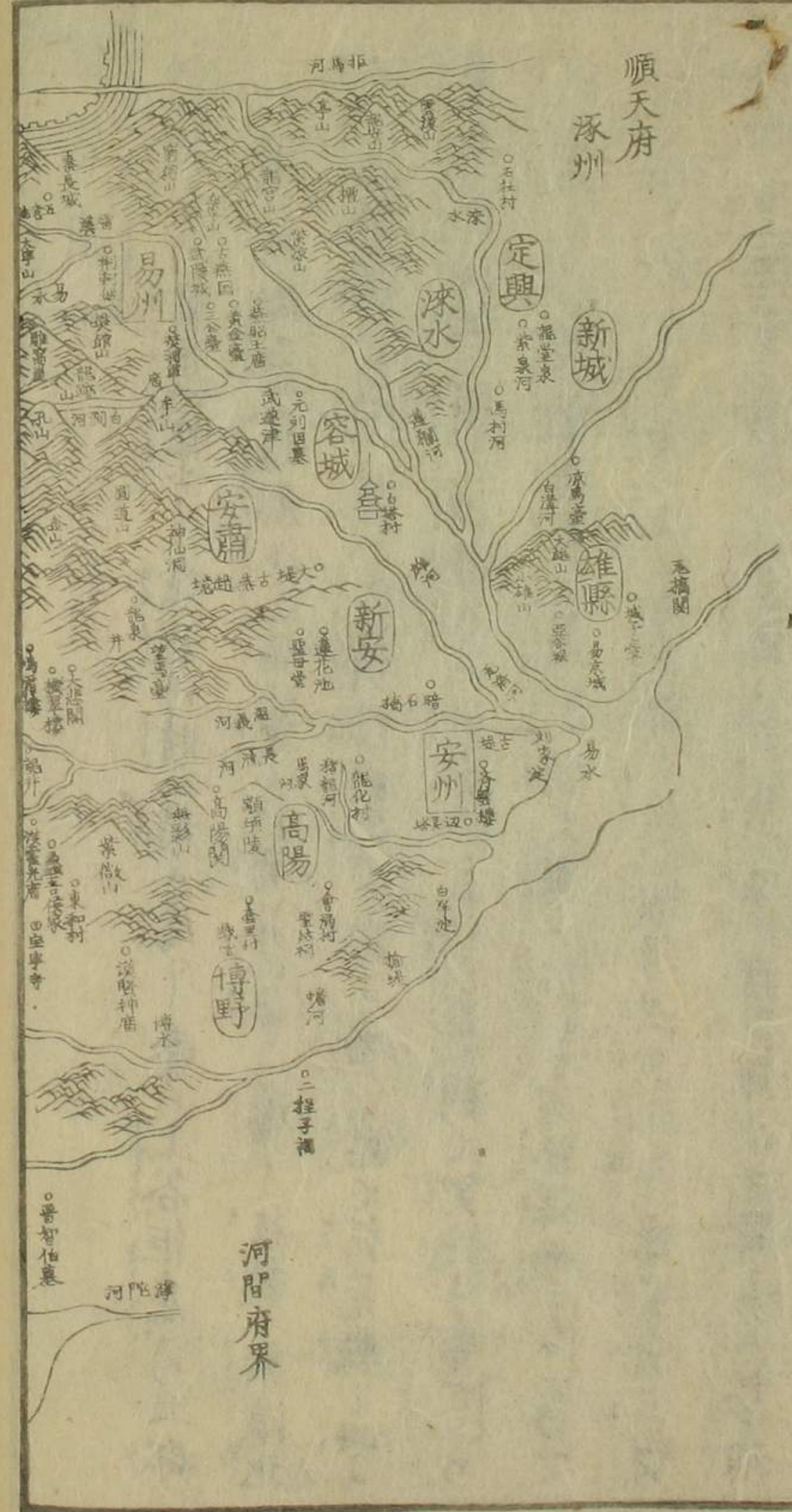
保定府

卷之五

保定府總圖

保定府 東西六百里 南北三百二十里

文安縣界

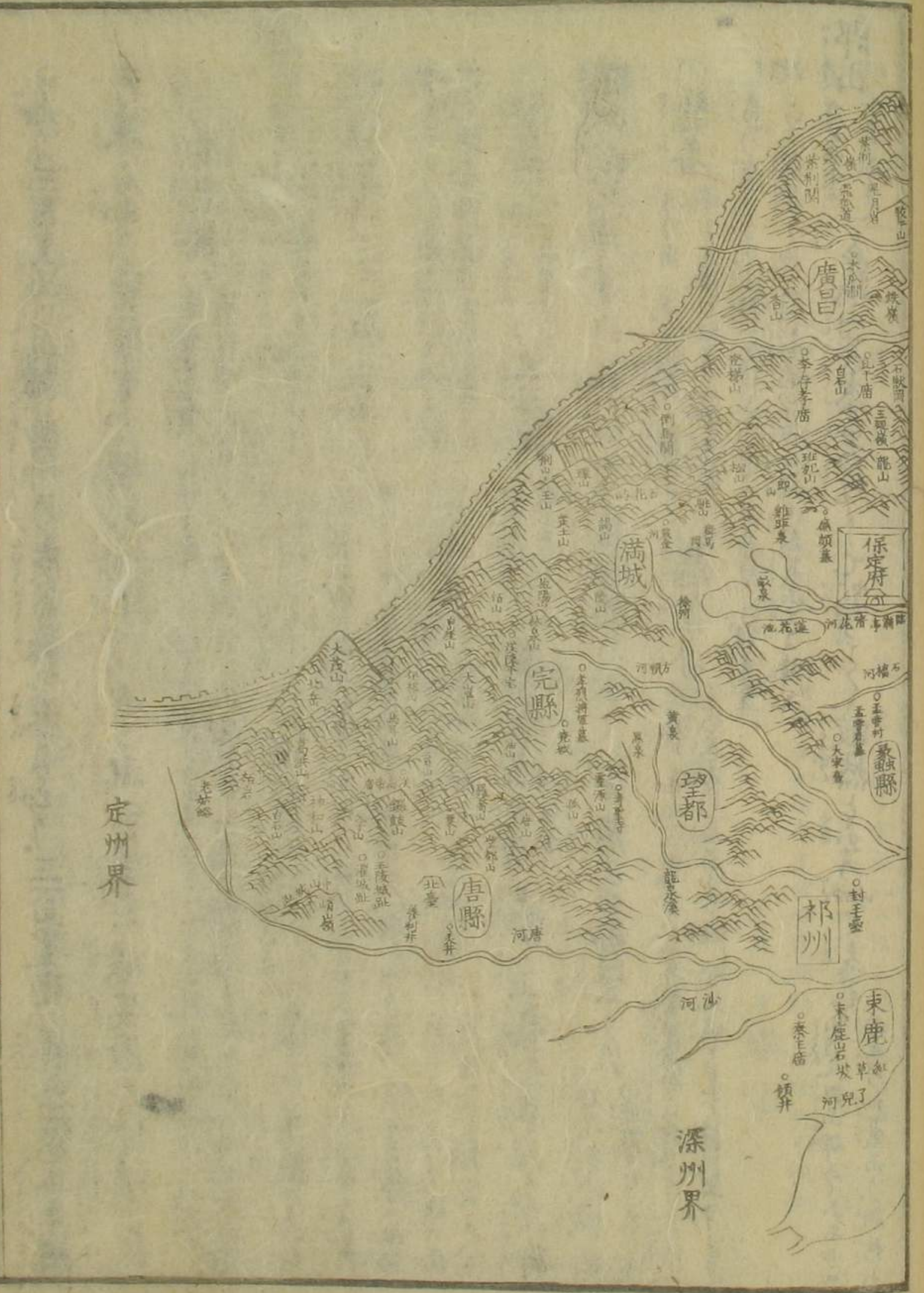


河間府界

直隸

保定府

卷之五



定州界

深州界

三百里西直隸易州之廣昌縣之界三百里南正定府之安平縣之界三百里順天府涿州之界三百里保定府之清苑縣之界

清苑縣

即保定府清苑縣也此縣之建系隋順天府治所也至唐武德三年置清苑縣屬涿州也

清苑河

府城之西二里許有水名清苑河也

雞距泉

府城之西三里許有泉名雞距泉也

一畝泉

府城之西三里許有泉名一畝泉也

石橋河

府城之南三里許有河名石橋河也

蓮華池

府城之南三里許有池名蓮華池也

龍泉

府城之南三里許有泉名龍泉也

龍舟

府城之南三里許有舟名龍舟也

郎山

府城之西三里許有山名郎山也

燕之昭王仙臺

山之面背一無異不待風烟變化神已迷危闕度雲嶺亂石臨荒蹊林間小草不識風日自太古我行終日仰羨木杪幽會啼但見雨色來雲物馳以凄忽然長嘯得石頂痛快如御駿馬蹄萬里來長風五色開晴霓長劍倚天立皎潔瑩鷲轉平地板起不傾側物外想有神物提 元劉因遊郎山雜言 荒鳴門書

松山

府之西北七十里有山名松山也

橫翠樓

府之東北有樓名橫翠樓也

萬卷樓

府之內有樓名萬卷樓也

臨濤亭

府城之內有亭名臨濤亭也

上層樓

府城之內有樓名上層樓也

鳴霜樓

府城之內有樓名鳴霜樓也

石臺

府城之內有臺名石臺也

澄瀾亭

府城之內有亭名澄瀾亭也

疏城

府城之內有城名疏城也

魚源

府城之內有源名魚源也

鳥翔

府城之內有翔名鳥翔也

城市

府城之內有市名城市也

書畫

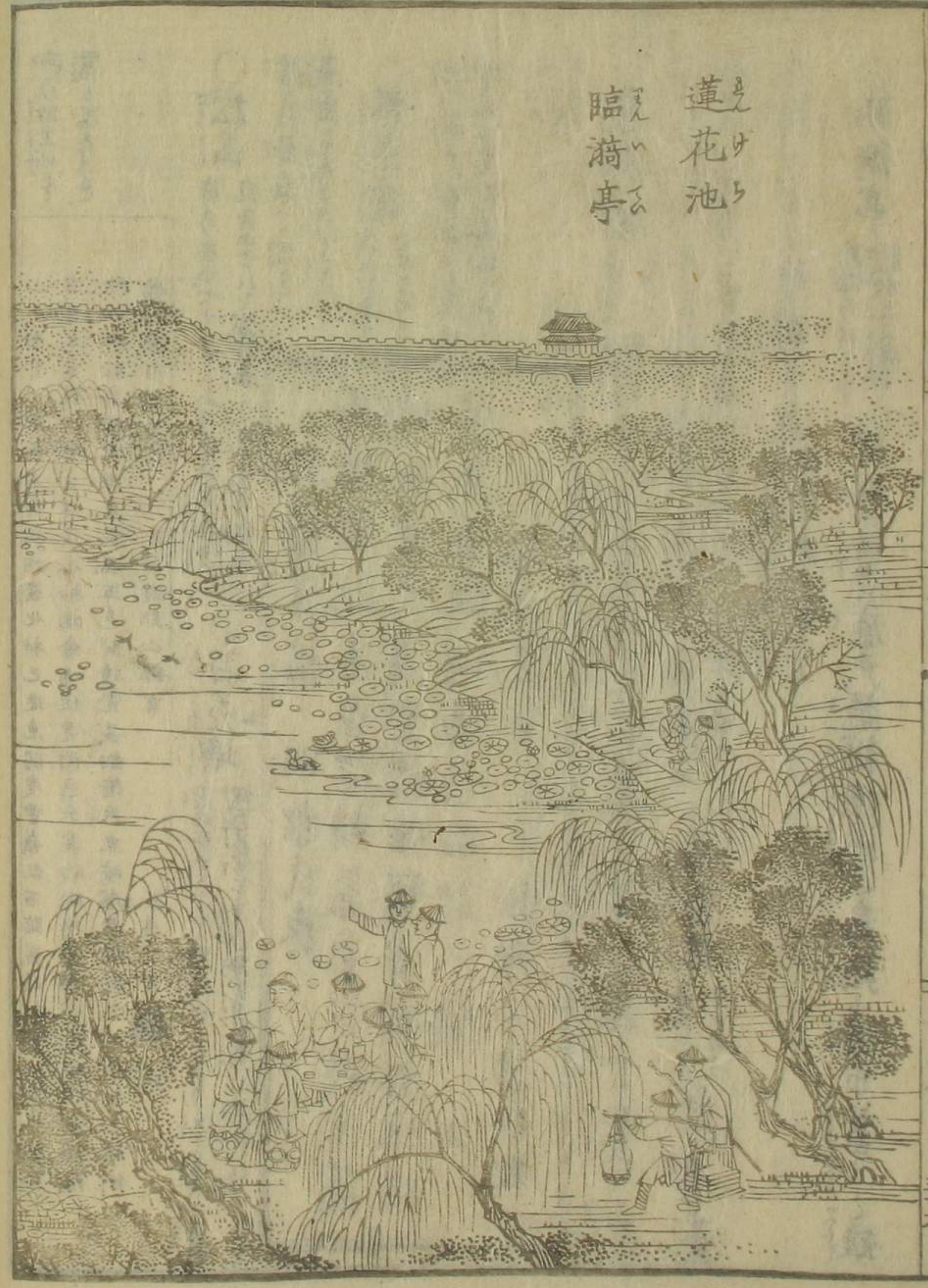
府城之內有書畫也

直隸

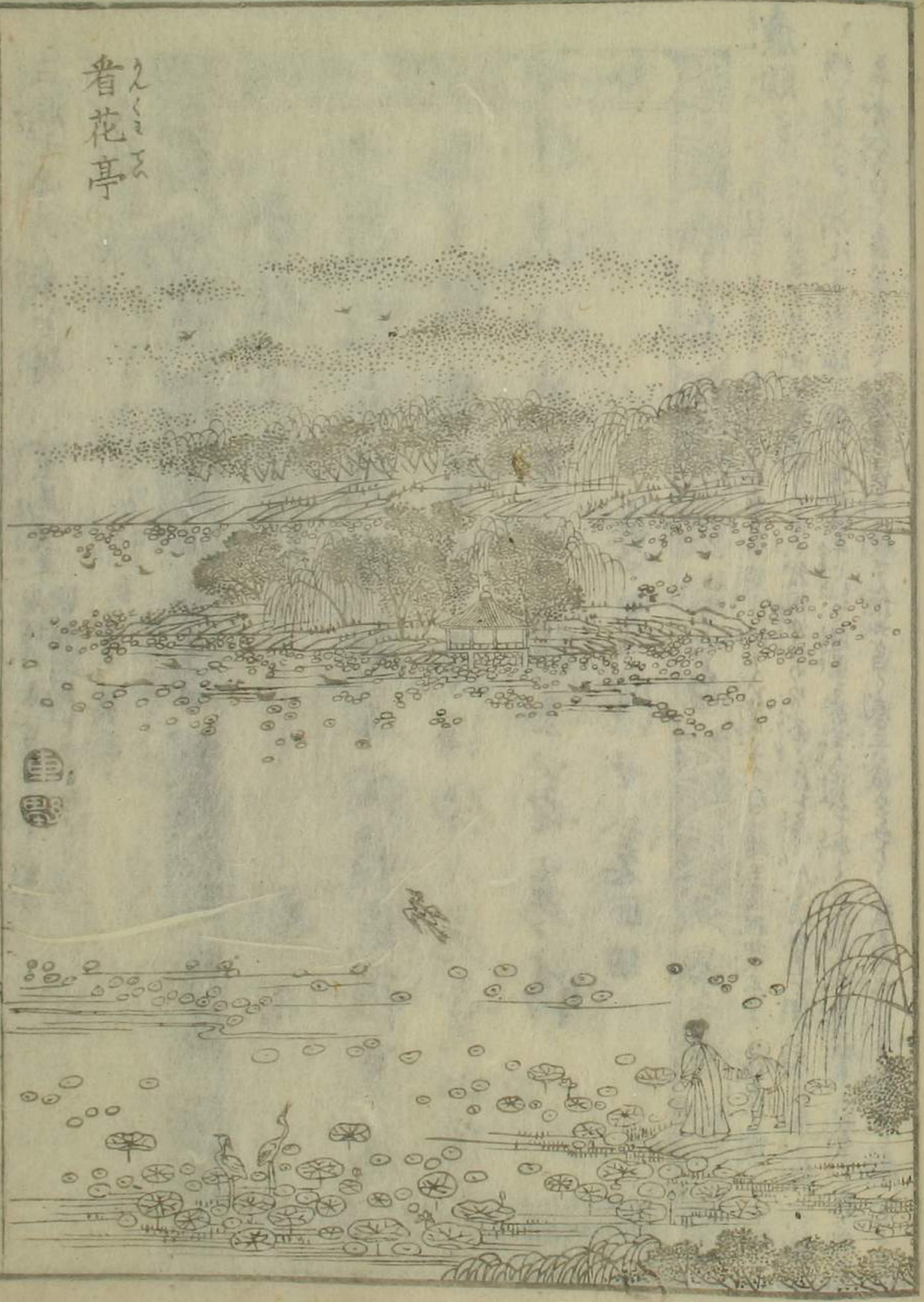
保定府

卷之五

蓮花池  
臨漪亭



看花亭



直隸

保定府

卷之五

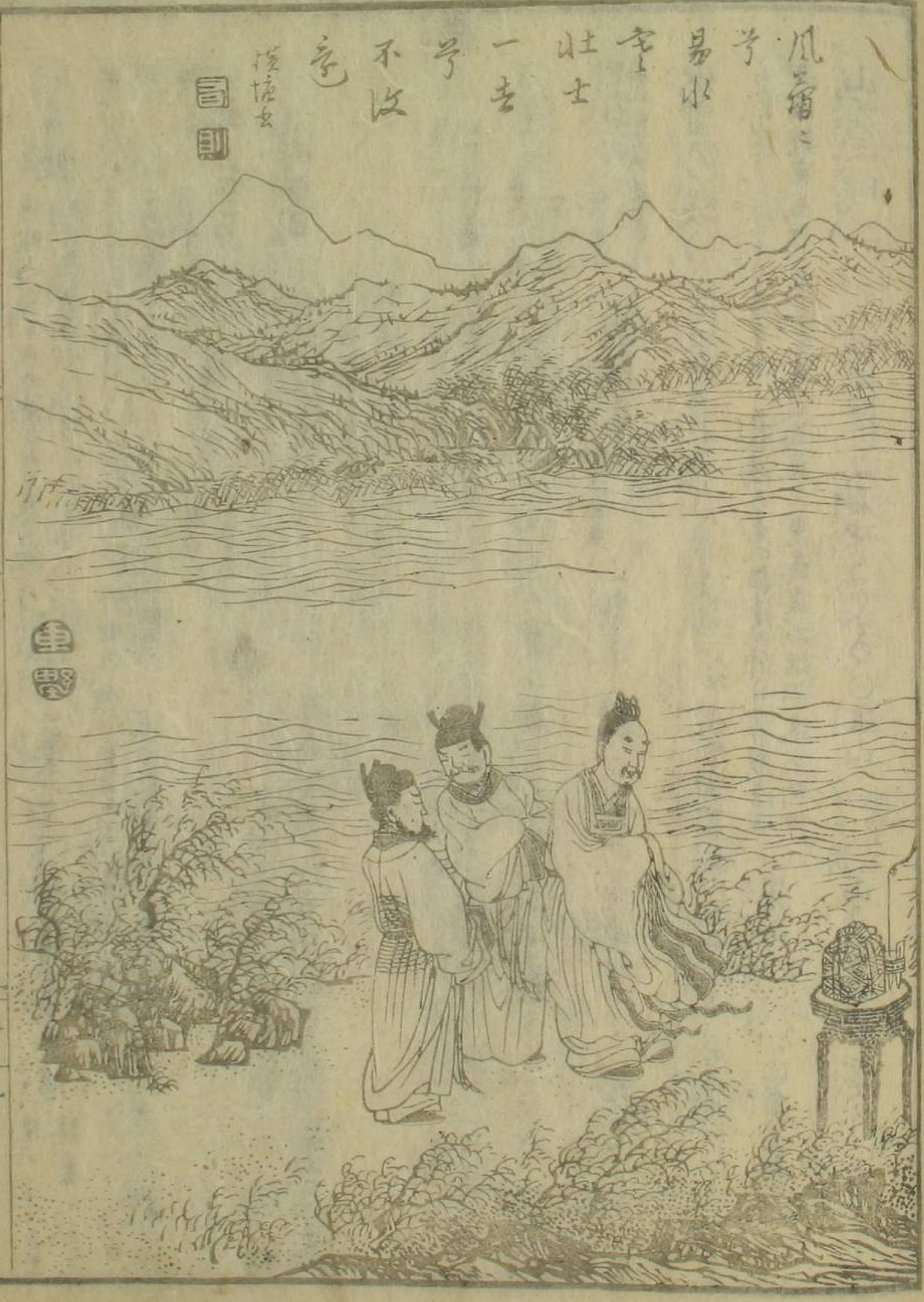








凡  
三  
甫  
一  
去  
壯  
士  
空  
易  
水  
不  
改  
意  
直隸



直隸

保定府

卷之五

○古堤 卅城の北易水の溪より秦の附 宋代又之後として上雲錦臺を建

○劉家渡 卅城の西二十里あり 源陽城の石橋河 一畝泉より卅の西と堰を築き流れて易水に

○邊吳塔 卅城の 南あり

○齊雲樓 卅城の 北あり

○望吳塔 卅城の 南あり

眺山 緑の山三里有り 山下の山を舞馬府若金府の都百人を容れ 其山巔にして峰立の如くして眺をとる

○陵山 三里有り 上は右帝王の陵あり 左は名く元の至正中勅して雲山と改

○抱陽山 緑の西南 山勢南に拱く 内の谷温和あり 松をの附と

氷雪の凌り 抱陽山と称し 石門七十二の大方より若三三山人と交り 小なる若十

○玉山 山は白石に覆りて玉の如

○荆山 山は荆樹に覆りて

○鵝山 緑の北七

○黃土山 湖山の北

○徐河 又曰徐河源は緑の山十里と傳ふ 大冊河と名く 漢書載ふ

○張蒼墓 緑の西

○人物 元の苑至果は臨城の人なり 性真実と号し 善は山の深谷中に修す

○安肅縣 係は府の北六十里あり 我國の武運は臨城の地なり 後魏は南宮州

○龍山 山下に龍王の祠あり 雨と禱らば必

○雙山 其山の如くして名く

○神仙洞 仙人黃伯陽此洞中

○龍山 山下に龍王の祠あり 雨と禱らば必

○雙山 其山の如くして名く

○神仙洞 仙人黃伯陽此洞中

○龍山 山下に龍王の祠あり 雨と禱らば必

○雙山 其山の如くして名く

○神仙洞 仙人黃伯陽此洞中

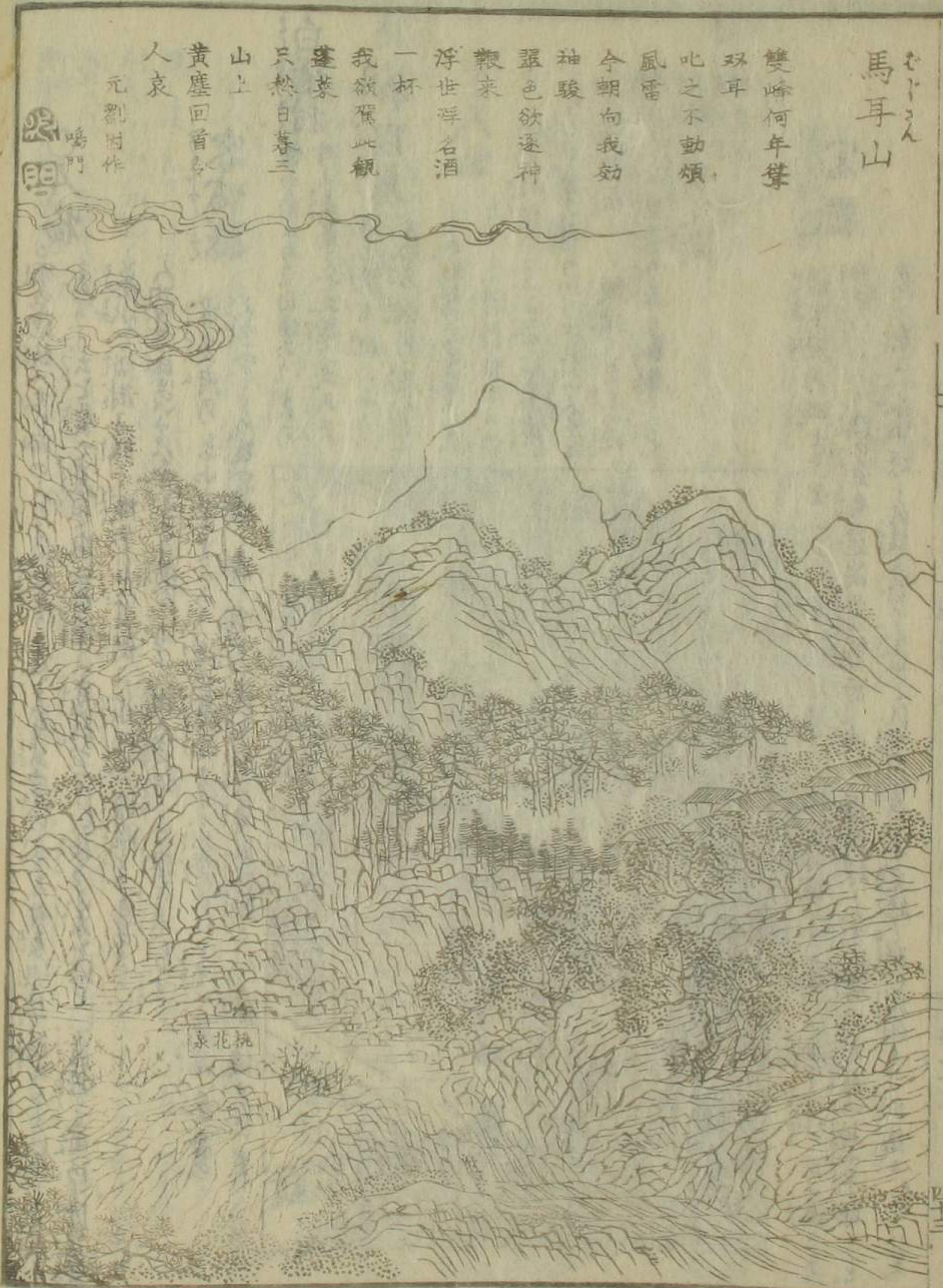




馬耳山

雙峰何年聳  
 双耳  
 叱之不動煩  
 風雷  
 今朝向我効  
 袖駿  
 翠色欲逐神  
 鞭來  
 浮世浮名酒  
 一杯  
 我欲駕此觀  
 蓬萊  
 只愁日暮三  
 山上  
 黃塵回首  
 人哀

元烈詩作



直隸

保定府

卷之五

濡水一名北易水

源發嶺山... 漢代

林尖山 嶺の北... 大

嶺山

嶺の西... 嶺

油山

嶺の東南... 嶺

伊祁山

嶺の西... 嶺

白崖山

嶺の西... 嶺

栢山

嶺の北... 嶺

馬耳山

嶺の西... 嶺

二の峯高... 其中... 嶺

漢陳平宅

嶺の南... 嶺

堯城

嶺の南... 嶺

若烈將軍祠

嶺の南... 嶺

陳平墓

嶺の南... 嶺

靈縣

保... 嶺

紫微山

嶺の南... 嶺

無影山

嶺の南... 嶺

寶寧寺

嶺の南... 嶺

石塔

明の洪武... 嶺

の柱... 漢

五侯塚

嶺の南... 嶺

漢賢神廟

嶺の南... 嶺

漢霍光廟

嶺の南... 嶺

魚骨君墓

嶺の南... 嶺

人物

漢の王... 嶺

雄縣

府城... 嶺

大雄山

嶺の西... 嶺

小雄山

嶺の南... 嶺

易京城

嶺の南... 嶺

亞谷城

嶺の南... 嶺

瓦橋關

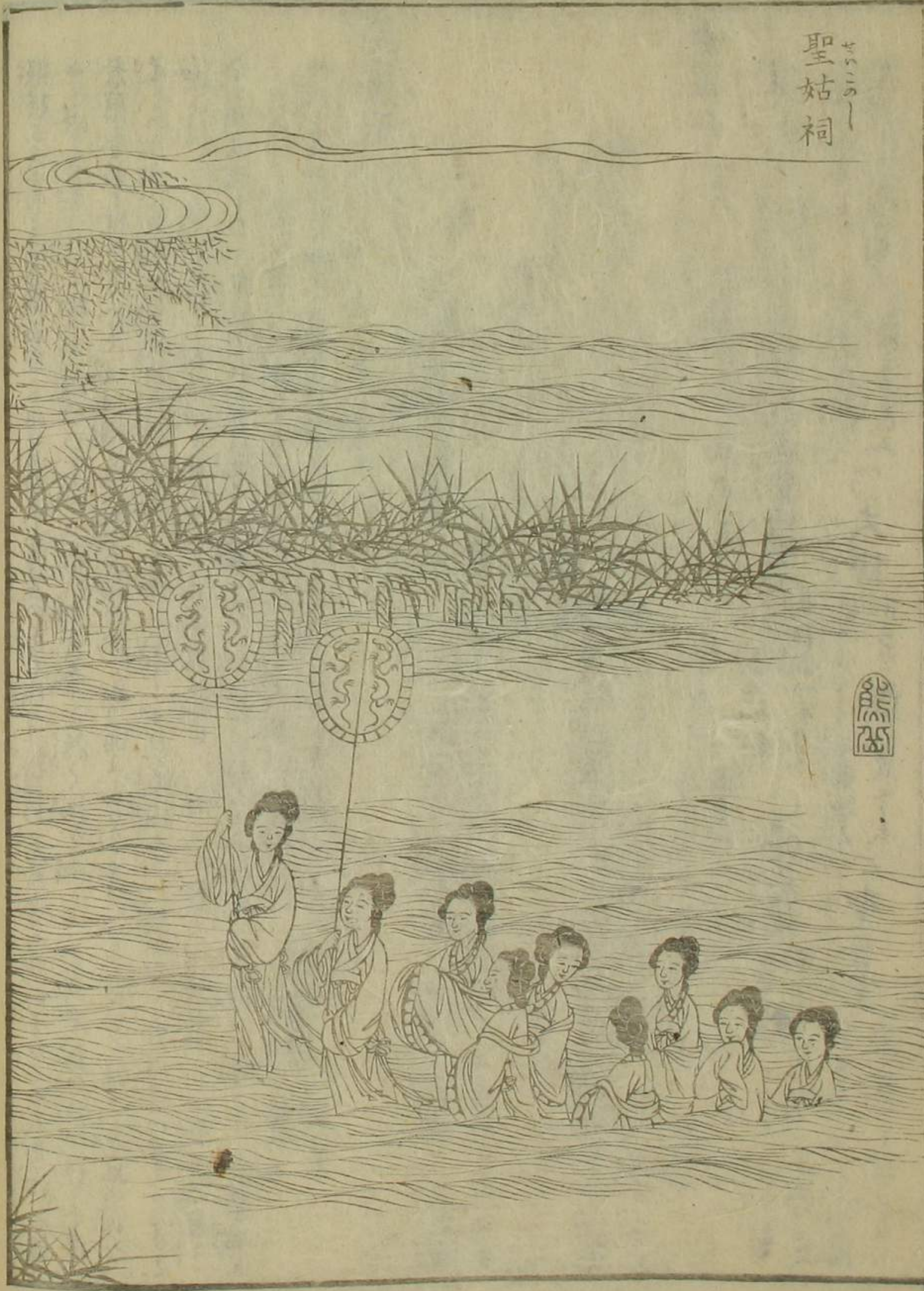
嶺の南... 嶺







聖姑祠



直隸

保定府

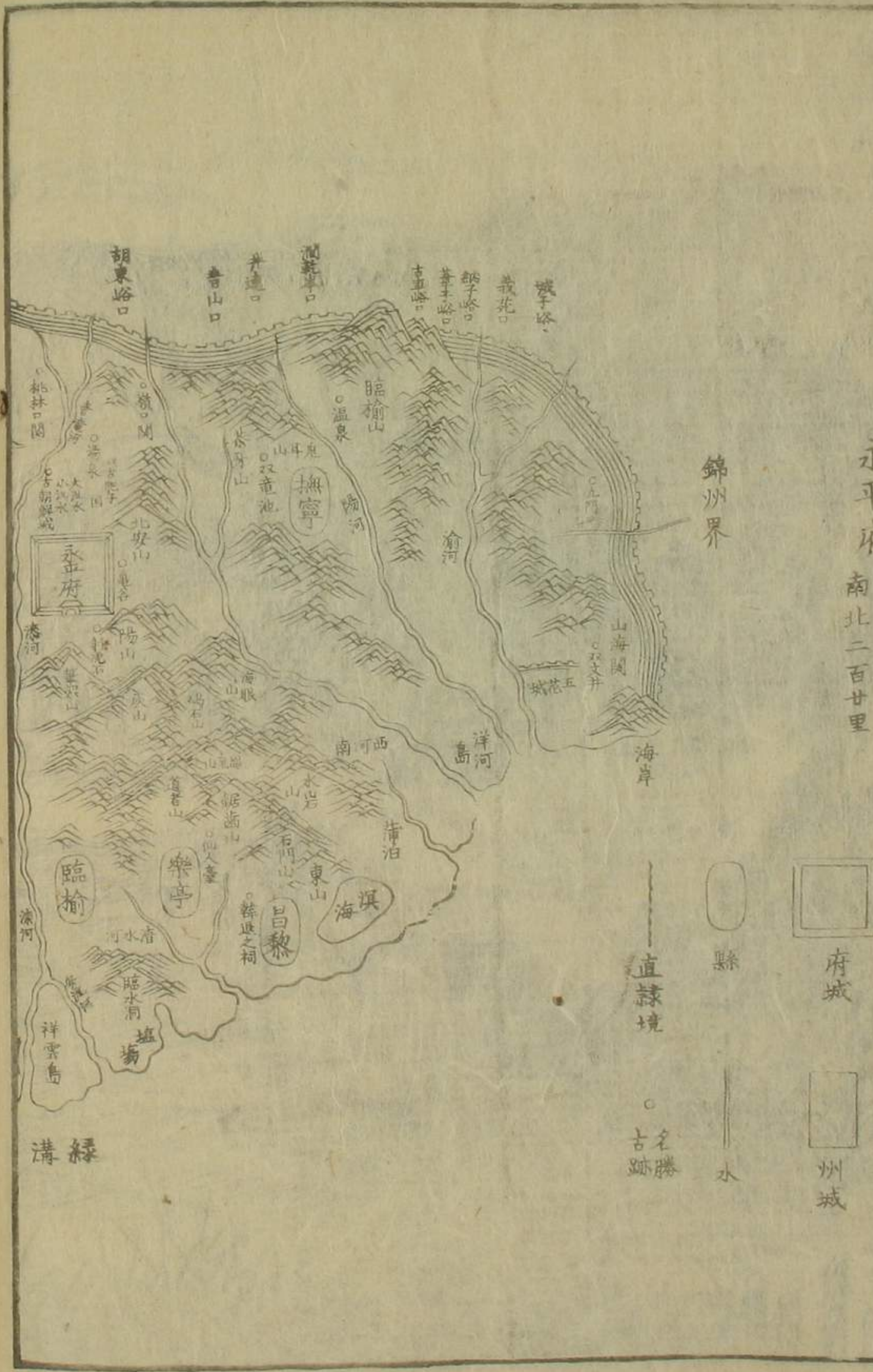
卷之五

唐土名勝圖會

永平府總圖

永平府 東西三百里 南北二百廿里

錦州界



遵化州豐潤縣界

直隸

永平府

永平府

禹貢冀州之域の東北營州の地なり。即高の孤竹國春秋の附山戎肥子の二國とみせり。秦より遼西右北平の二郡と置漢の末公孫度此地を據り三國の魏より盧龍郡と改り小燕平州と置後魏に改りて小平郡と置。五代の唐より遼興軍と置令の附は南京と稱以後後平州と名く元に改て興平府と中統年間平滦路と改り大徳中亦永平路と改む。明の洪武二年永平府と爲り京師より直隸に清朝にして仍府治と盧龍縣より屬する州一縣六日滦州日盧龍縣日遷安縣日撫寧縣日昌黎縣日樂亭縣日德裕縣。明より德裕縣と長化は乃乾波の同長寧なり。九永平府の治より東に山海関あり。一百八十里西に遵化州の豊潤縣の界あり。一百二十里南に海岸あり。一百二十里北に挑林あり。六十里是と永平府の治の境内と爲り。唐太宗於北平作翠野駐戎軒。

盧龍轉征旆遙山麗如綺長流紫似帶海氣百重樓巘松三尺大茲焉可遊賞何必裏城外。

盧龍縣

秦河

秦龍溪府城の西門外に流るる水なり。秦河といふは秦河と合して海入。

肥如河

府城の東に流るる水なり。

鮮龍水

府城の東に流るる水なり。

湯泉

泉

府城の北にあり。此泉温にして湯のじとこれと飲めば夜ををるる。

小沮水

府の北にあり。中沮水其下と交り流る。

燕樓

府の南にあり。雨降るとこれの舟中より丸ころ。

陽山

府城の東南にあり。射虎石あり。射虎石あり。射虎石あり。

洞山

府の西にあり。此山高く巖と爲り。

雙子山

府の西にあり。此山高く巖と爲り。

周山

加平山

府の南にあり。石壁として加平の山なり。

馬鞍山

府の西にあり。孤竹の墓あり。

團子山

府の西にあり。孤竹の墓あり。

龍山

玉山

府の西南にあり。中沮水其下と交り流る。

裂坡山

府の西南にあり。下流に裂き雨と爲り。

小晏山

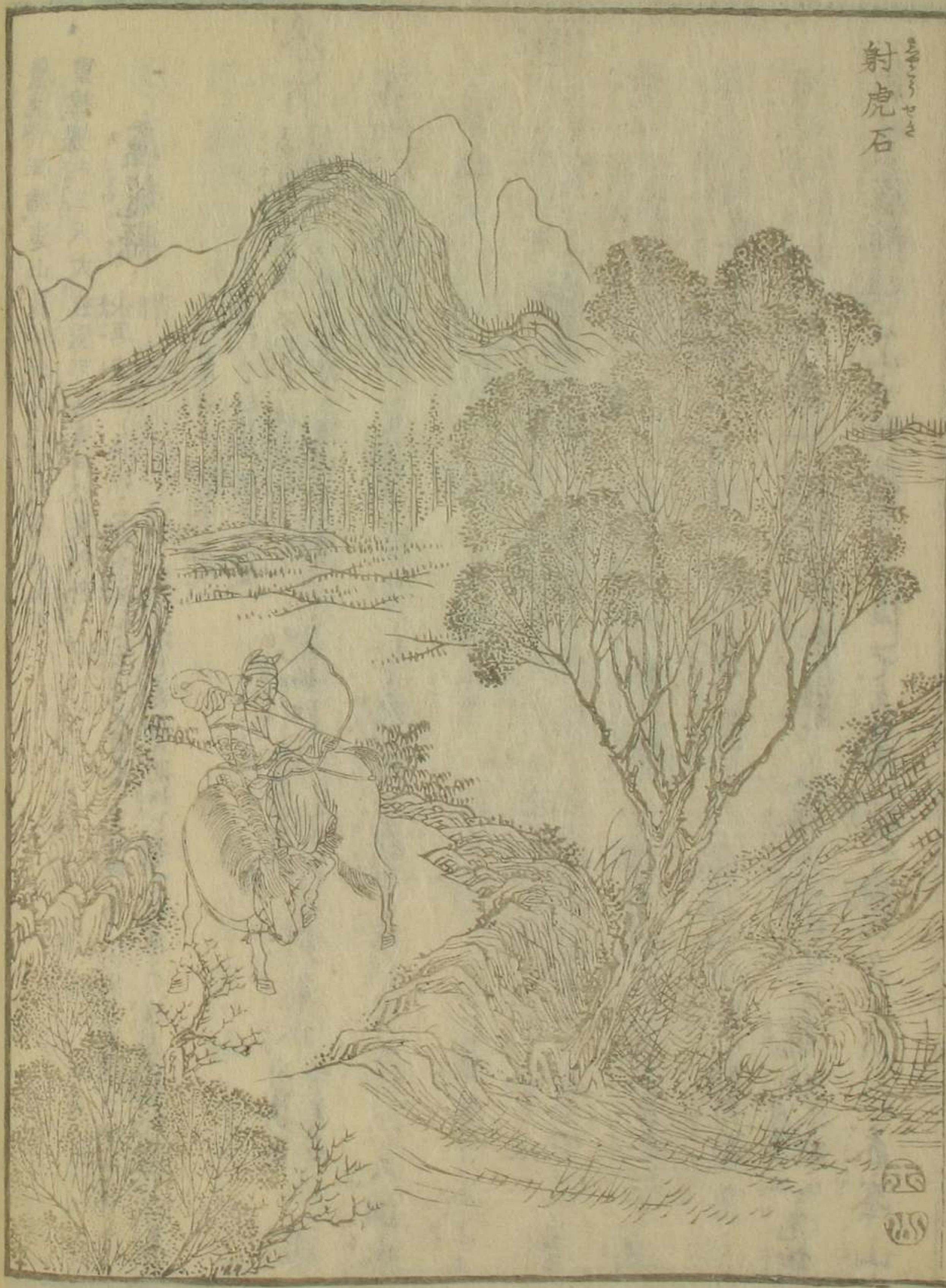
府の東にあり。二十里あり。

赤峯山

志

志云盧龍鎮は山を形龍のてくはして名を以て縣の名と爲り。赤峯山あり。

射虎石



府の西に十里あり。生

○龜谷 府の東南

其形龜に似たり。其中暖氣あり。以上唐内城の内より。唐の

鳴遠樓 ○や高樓 ○大會亭 ○釣魚臺 ○望海臺

以上唐内城の内より。唐の武帝の廟あり。望海臺は漢の武帝の廟あり。釣魚臺は漢の武帝の廟あり。大會亭は漢の武帝の廟あり。鳴遠樓は漢の武帝の廟あり。や高樓は漢の武帝の廟あり。

○桃林口関 唐龍嶽

府の西に十里あり。唐の武帝の廟あり。桃林口関は漢の武帝の廟あり。唐龍嶽は漢の武帝の廟あり。

○伯夷叔齊廟

府の西に十里あり。唐の武帝の廟あり。伯夷叔齊廟は漢の武帝の廟あり。

○古孤竹園

府の西に十里あり。唐の武帝の廟あり。古孤竹園は漢の武帝の廟あり。

○古朝鮮城

府の西に十里あり。唐の武帝の廟あり。古朝鮮城は漢の武帝の廟あり。

○三折

府の西に十里あり。唐の武帝の廟あり。三折は漢の武帝の廟あり。

○石槽

府の西に十里あり。唐の武帝の廟あり。石槽は漢の武帝の廟あり。

○人物

漢の武帝の廟あり。人物は漢の武帝の廟あり。

漢の武帝の廟あり。人物は漢の武帝の廟あり。

漢の武帝の廟あり。人物は漢の武帝の廟あり。

漢の武帝の廟あり。人物は漢の武帝の廟あり。



三の洞ありて人跡と絶いけり。後て登る所の内廣二百八十歩あり。河の向ふより南にあり。西に西野山あり。よるる所を唐土名勝と云ふ。唐土名勝時後唐高祖皇帝御時。

萬軍城

城の東西三百六十歩あり。唐のとき名を萬軍城と云ふ。唐土名勝時後唐高祖皇帝御時。

撫寧縣

永平府の東八十里あり。漢のとき名を撫寧縣と云ふ。唐土名勝時後唐高祖皇帝御時。

陽河

河の東八里あり。源は山あり。唐土名勝時後唐高祖皇帝御時。

雙文舟

山海關の東にあり。唐土名勝時後唐高祖皇帝御時。

虎耳山

山頂は洞あり。中は水あり。唐土名勝時後唐高祖皇帝御時。

紫荊山

山の南にあり。唐土名勝時後唐高祖皇帝御時。

山海關

關の東にあり。唐土名勝時後唐高祖皇帝御時。

唐土名勝時後唐高祖皇帝御時。山海關の東にあり。唐土名勝時後唐高祖皇帝御時。山海關の東にあり。唐土名勝時後唐高祖皇帝御時。

山海關

東岳

山海關の東にあり。唐土名勝時後唐高祖皇帝御時。山海關の東にあり。唐土名勝時後唐高祖皇帝御時。

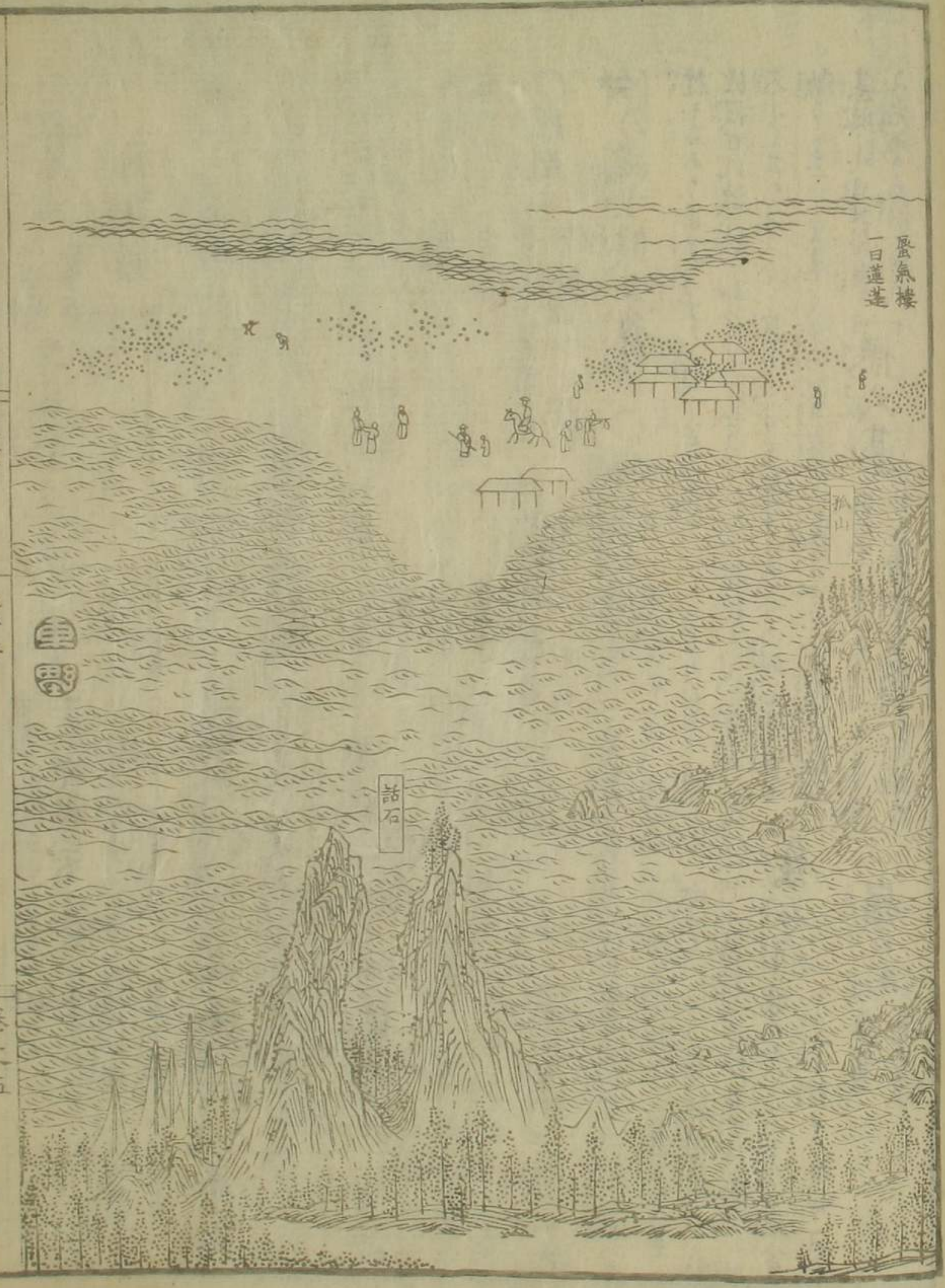
東岳の東にあり。唐土名勝時後唐高祖皇帝御時。



山海關



風氣樓  
一日蓮蓬



直隸

永平府

卷六五



○五花城

山海關の西南あり

其城五ありて連り環る

相傳へ唐の太宗の太宗と征する時其將薛仁貴が城を築くを命ず

昌黎縣

永平府の東南八十里あり 昌黎縣の地後魏の付遼西郡と唐後魏の昌黎郡と金の大寧の同昌黎縣とん其地より已來よりこれに依る編年二十七里

急流水

○沙源河

條の西あり

○蒲泊

條の東あり

○後頭河

條の西三十三里あり

○真海

條の東南三十三里あり

○廣夜

三十里若深く羨溪

○石門山

條の西八里あり

○碣齒山

條の西八里あり

○道者山

條の西二十里あり

○東山

條の東三里あり

○水巖山

條の西八里あり

○鳳凰山

條の西八里あり

○海眼山

條の西三十三里あり

○石門山

條の西八里あり

○碣石山

條の西二十里あり

○道者山

條の西二十里あり

○東山

條の東三里あり

○碣石山

條の西二十里あり

○道者山

條の西二十里あり

○東山

條の東三里あり

○水巖山

條の西八里あり

○鳳凰山

條の西八里あり

○海眼山

條の西三十三里あり

○碣石山

條の西二十里あり

○道者山

條の西二十里あり

○東山

條の東三里あり

○水巖山

條の西八里あり

○鳳凰山

條の西八里あり

○海眼山

條の西三十三里あり

○碣石山

條の西二十里あり

○道者山

條の西二十里あり

○東山

條の東三里あり

○水巖山

條の西八里あり

○鳳凰山

條の西八里あり

○海眼山

條の西三十三里あり

○碣石山

條の西二十里あり

○道者山

條の西二十里あり

○東山

條の東三里あり

○水巖山

條の西八里あり

○鳳凰山

條の西八里あり

○海眼山

條の西三十三里あり

○碣石山

條の西二十里あり

○道者山

條の西二十里あり

○東山

條の東三里あり

○水巖山

條の西八里あり

○鳳凰山

條の西八里あり

○海眼山

條の西三十三里あり

○碣石山

條の西二十里あり

○道者山

條の西二十里あり

○東山

條の東三里あり

○水巖山

條の西八里あり

○鳳凰山

條の西八里あり

○海眼山

條の西三十三里あり

韓昌黎祠

條の西八里あり 唐の韓愈字退之其先魏昌黎縣人なり始河陽より昌黎に徙るとも其昌黎の地後魏の昌黎郡と唐の昌黎縣とん其地より已來よりこれに依る編年二十七里

謁韓文公祠

張汝璣

摠角誦公文不啻編三絶半世味公道無絲劍一映維  
公不朽姿薄雲貫虹蜺謫傷與詩術兩看均蠖蟻  
氛氲一辨香萬古應同蕤舉何未生敢云景行  
切潮陽滴官區偶然鴻爪雪藉此滌炎陬海濱才  
杓揭湖流漾清沁宰執環瓦岳江山銜明德臨  
眺心神澈白雲飄檐楹悅憶靈旗制手

南豐書

南豐書

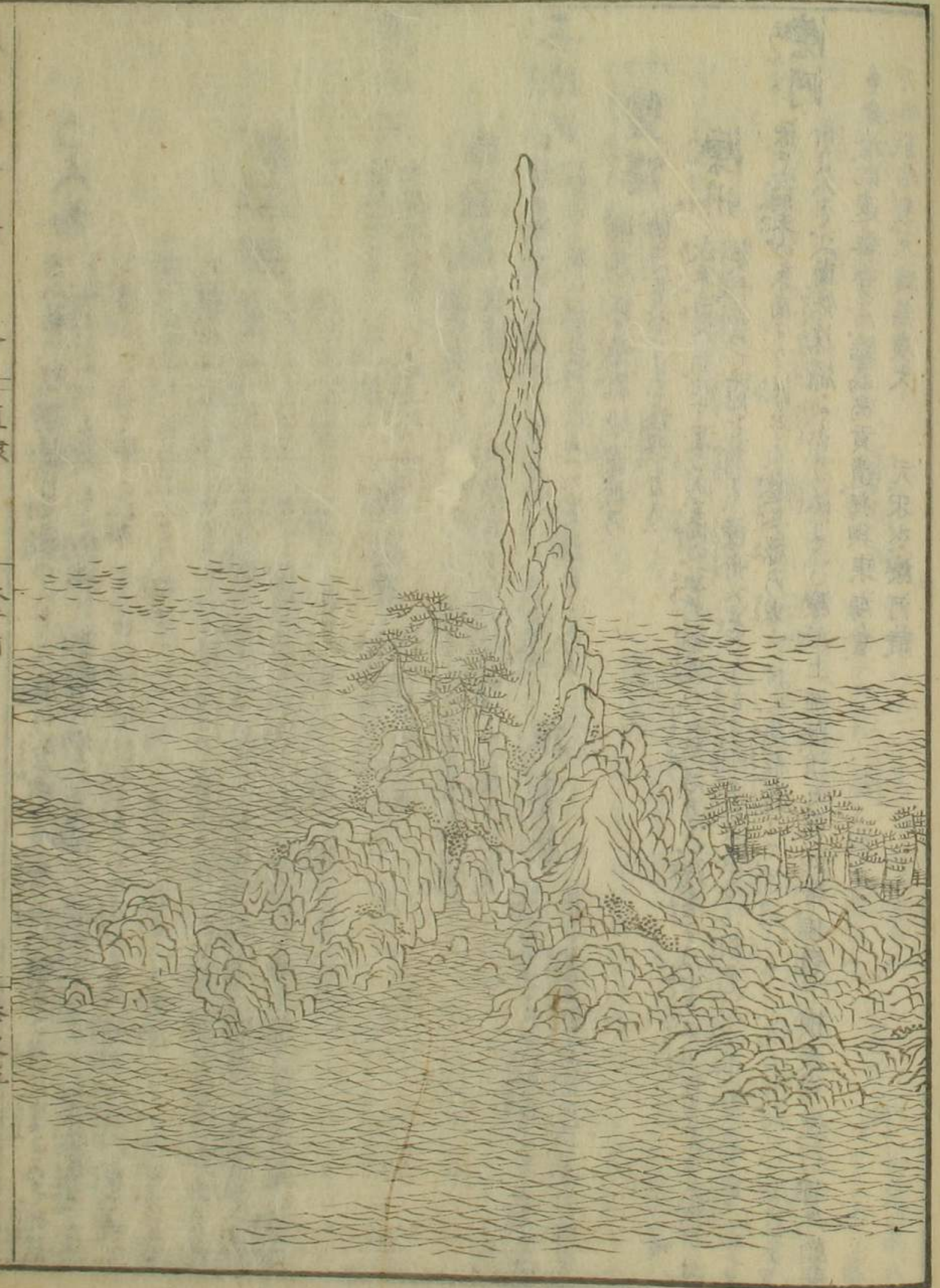
碣石山

魏武帝樂府日出

東南隅云

東臨碣石以觀滄海  
水河澹々山島竦峙  
樹木叢生百草豐茂  
秋風蕭瑟洪波湧起  
日月之行若出其中  
星漢燦爛若出其裏  
幸甚至哉歌以詠志

鳴門書



直隸

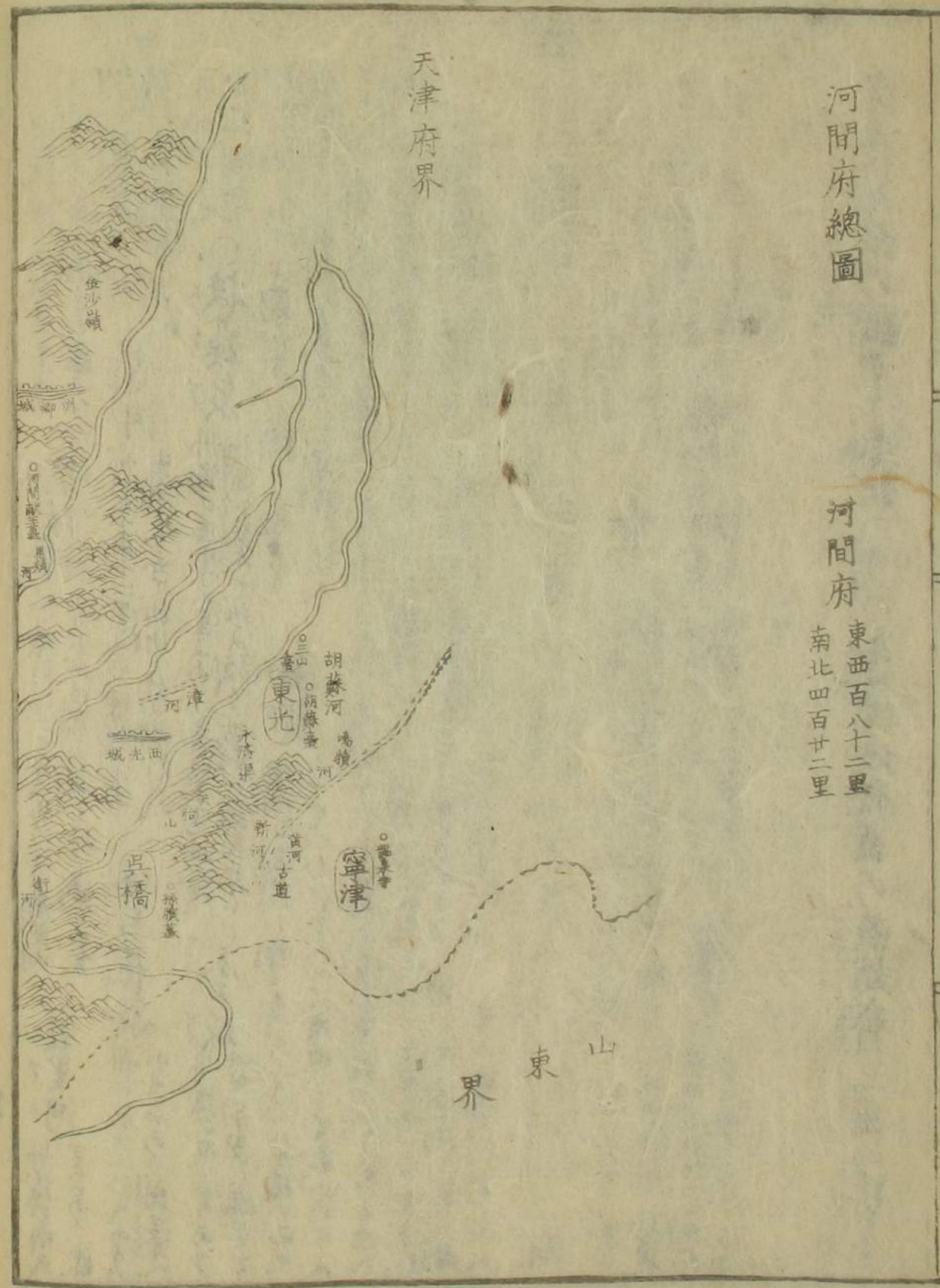
永平府

卷之五



河間府總圖

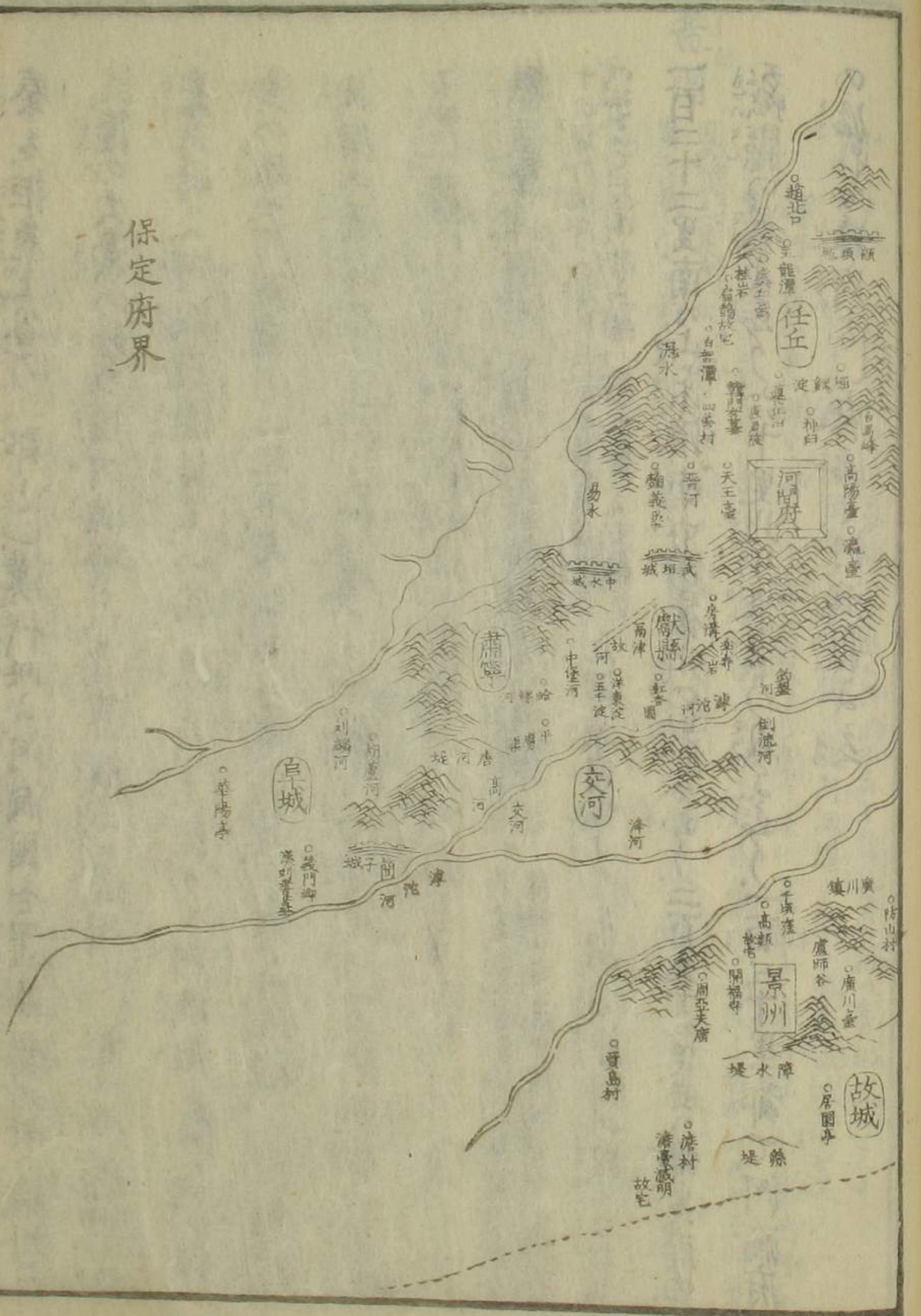
河間府 東西百八十二里  
南北四百廿二里



天津府界

山東界

保定府界



保定府界

直隸

河間府

卷之五

秦之拒鹿上谷の二郡にして漢代此は河洞園を置後魏の時に瀛州と  
 以隋の大業の初より後河洞郡と改め其後或は瀛州とし或は河洞郡と  
 宋の時に河洞府瀛海軍の節度と改め元改めて河洞路と改め明の洪  
 武の始より河洞府とし北平布政司に屬し後京師に直隸に清朝河  
 洞府の天津衛を府と改め屬せる州縣と二に分てり其河洞府に屬せ  
 る州一縣十日景州日河洞縣日獻縣日阜城縣日肅寧縣日任邱縣日交河  
 縣日寧津縣日吳橋縣日故城縣日永光縣なり  
明の滄州を領する縣興海縣海縣南皮縣  
 滄州山縣慶雲縣寧津縣と合て二州  
 十六縣河洞府に屬し唐初河洞の洞滄州以下  
 の縣とて天津衛に屬し後宋併し直隸に 九河洞府城より東の方滄州の界より  
 一百二十二里南の方濟南府の德州の界より二百九十二里西の方保定府の  
 蠡縣の界より六十里北の方雄縣の界より一百三十里都て河洞府  
 の治むは境内とし府治と河洞縣とす

河洞縣

此地高河滹沱河の向よりあり河洞の名と魏氏國の縣なり唐魏が封せり  
 石方より漢の武安縣と後魏の即河洞縣と改め今尚ほ後編戸九七里

高河

高河の源の西北保定府の陽城界より来り涿の西北流きて交河橋に到る滹沱河と  
 其源を魏山と云ふ涿の南二十里と云ふ流きて交河と合て未だ衛河と合流し海に入此向と交河と  
 晉河 國の風王其弟叔虞と此地に封し 瀛其堂 府城の東 高又六洞十六其堂上眺るべき

高陽其堂

府城の東よりあり 瀛其堂と相呼ぶ 天王其堂 府城の北門内よりあり其堂と云ふ殿あり

州鄉城

府の東北十里あり 武項城 府の西南三里あり 魏義里 河洞縣の北の漢の

人物

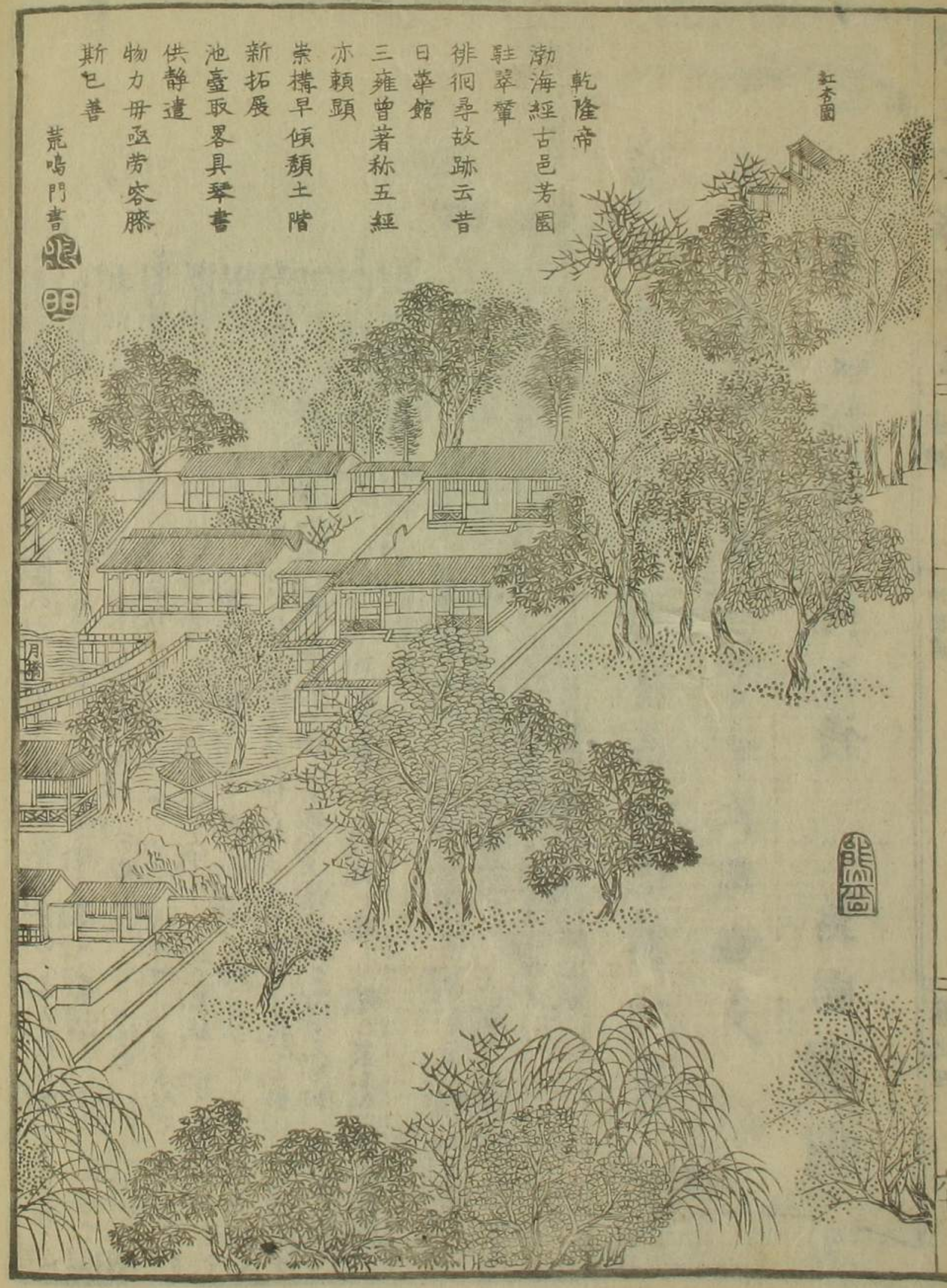
漢の宗室劉淵河洞の人なり孝廉と擧ぐる成帝猶健存と云て后とせんといふ  
 其母族あり禮節と解さる若七旬母り喪ふぬを哀毀獲て帝立云と負ひ墜し  
 其母族と其門よりきて若を視し粟粟とたり小階の高祖多後て平陽の太子と  
 率る年八十八なり  
 隋の盧元龜河洞の人なり七歳にして自ら教ふ言と痛恨州里皆稱善と号し後  
 及ひて侯と名を帝皇和仁春宮と進んて侯と名を置其不祥と斥て若と帝心  
 文帝聞以遂に殺せんとて若を中と稱し其母族と帝心と帝心と帝心となす  
 若姓の若仇成なり其言を云ふの若を於て懸懸ある若勝て若なりと云



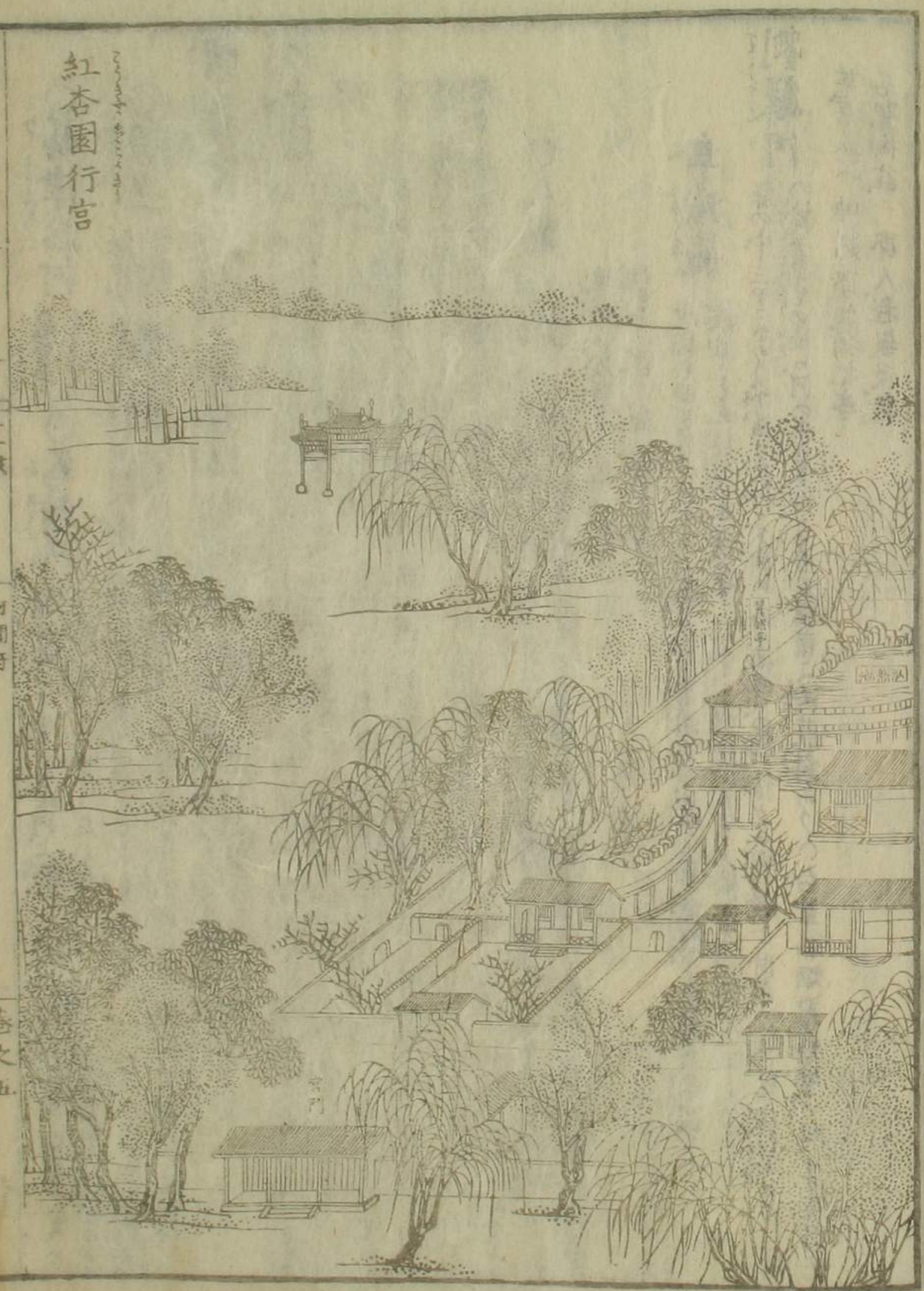
紅杏園

乾隆帝  
 渤海經古邑芳園  
 駐翠輦  
 徘徊尋故跡云昔  
 日華館  
 三雍曾著祿五經  
 亦賴頭  
 崇構早傾顏土階  
 新拓展  
 池臺取畧具翠書  
 供靜遣  
 物力毋亟勞容膝  
 斯已善

荒鳴門書  
  


紅杏園行宮



直隸

河間府

卷之五

○馬頰河

條の西六十里あり。河上湖。條の東六十里あり。此河上湖。條の東六十里あり。此河上湖。

○約盤河

條の東六十里あり。此河上湖。條の東六十里あり。此河上湖。

○房溝

再城。條の東六十里あり。此河上湖。條の東六十里あり。此河上湖。

○中水塔

條の西六十里あり。此河上湖。條の東六十里あり。此河上湖。

○人物

漢の劉歆。條の東六十里あり。此河上湖。條の東六十里あり。此河上湖。

○河間獻王

條の東六十里あり。此河上湖。條の東六十里あり。此河上湖。

○阜成縣

條の東六十里あり。此河上湖。條の東六十里あり。此河上湖。

○劉蘇河

條の東六十里あり。此河上湖。條の東六十里あり。此河上湖。

名號御莊。郡人程敏政詩。此河上湖。條の東六十里あり。此河上湖。

○葫蘆河

條の東六十里あり。此河上湖。條の東六十里あり。此河上湖。

○漢劉晝墓

條の東六十里あり。此河上湖。條の東六十里あり。此河上湖。

○肅寧縣

條の東六十里あり。此河上湖。條の東六十里あり。此河上湖。

○中堡河

條の東六十里あり。此河上湖。條の東六十里あり。此河上湖。

○洋水渡

條の東六十里あり。此河上湖。條の東六十里あり。此河上湖。

○五千渡

條の東六十里あり。此河上湖。條の東六十里あり。此河上湖。

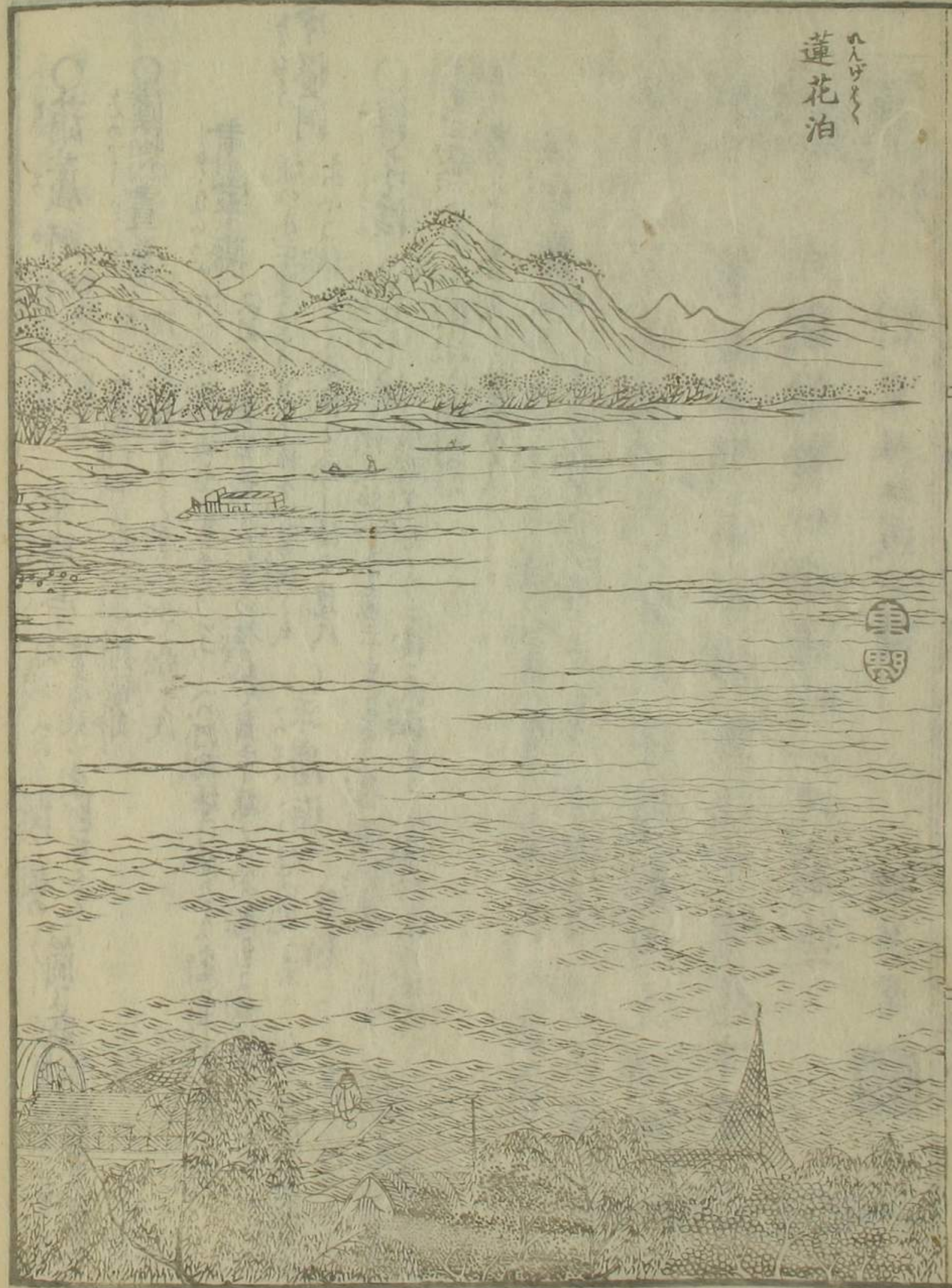
○任邱縣

條の東六十里あり。此河上湖。條の東六十里あり。此河上湖。

不盡西山色蒼茫。遠帝都內廷傳甲。第我古問妻孥寤。寔隆中嘯悲涼。督元圖昔賢知未遇。時一哭窮途。計東任丘道中詩。岡芳常。



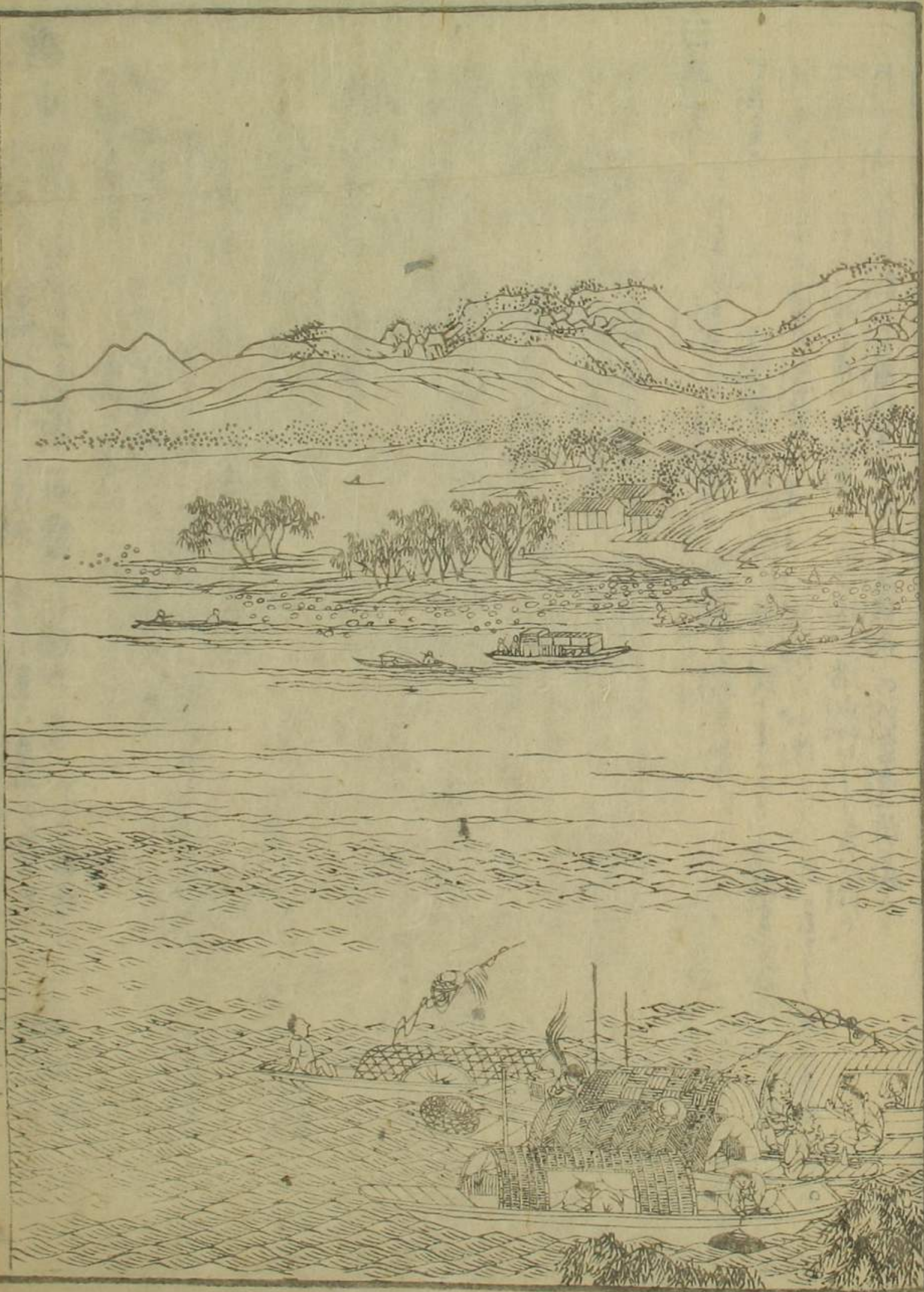
蓮花泊  
八ノサ  
ノ



直隸

河間府

卷之五





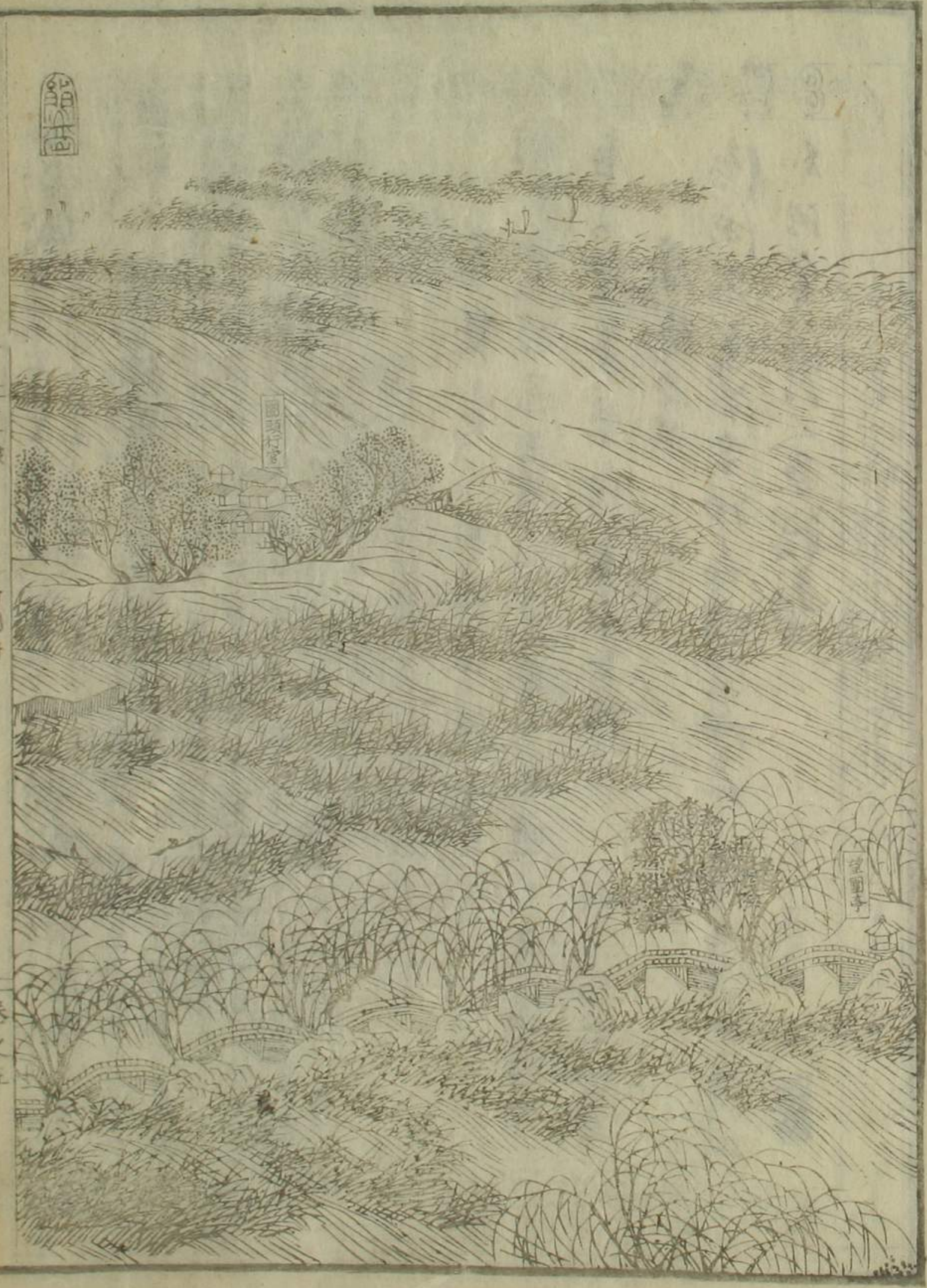
趙北口



滿村行宮

郭守敬

趙北口行宮



趙北口

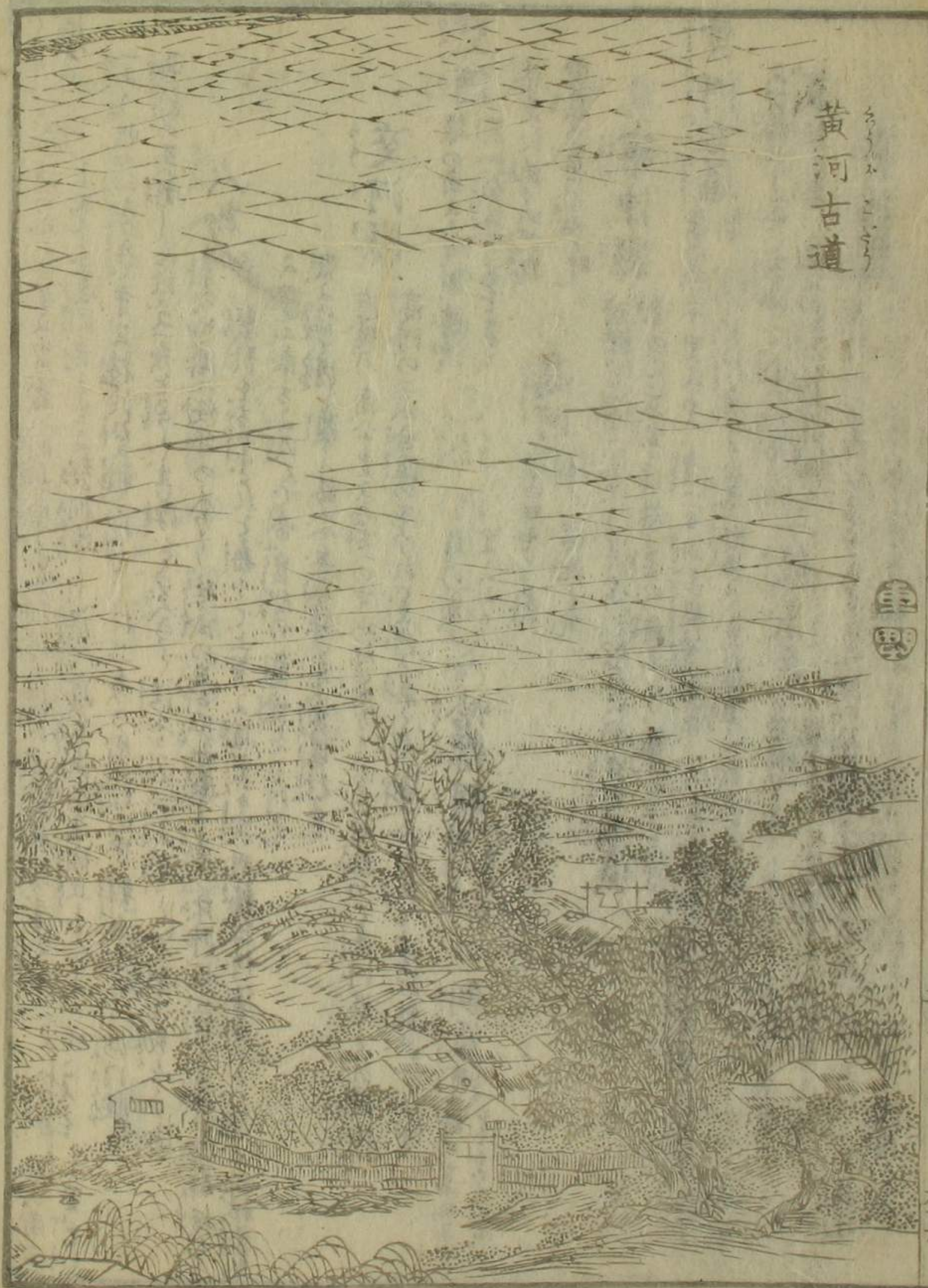
直隸

河間府

卷之五



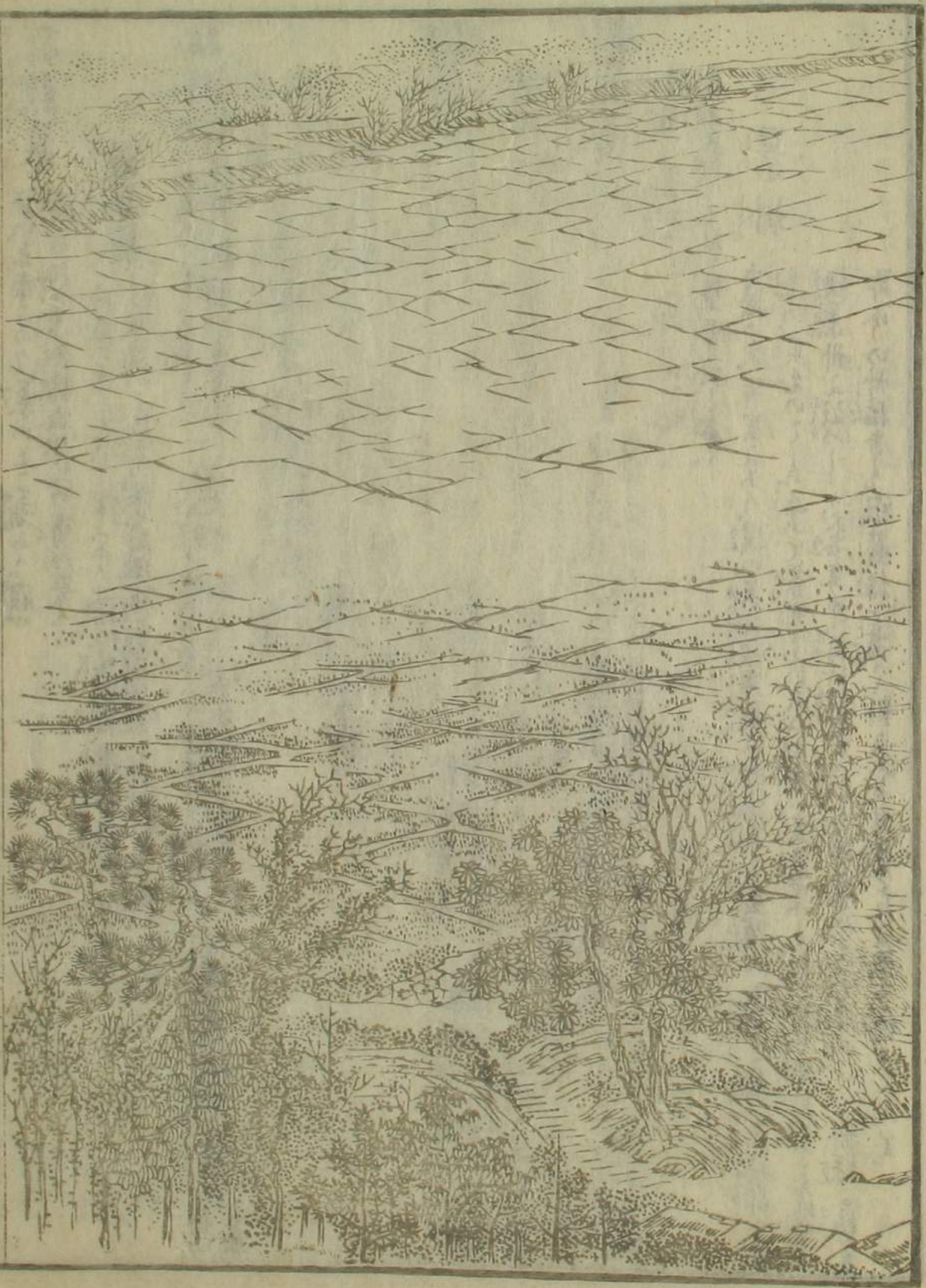
黄河古道



直隸

河間府

卷之五



孫贖墓 孫贖の墓南三千里、墓の上、高あり、腰の齊の相方、兵備、孫贖の齊の地。

故城縣

府城の南二百九十里あり、隋の唐河郡、歷其孫の地、故城の鎮、元の孫贖、故城鎮、高、明、周、八里。

柘河 孫贖の西南二十里あり、流、

○孫贖 孫贖の西南二十里あり、相、

○瀋墓城明故宅 孫贖の

○居園亭 孫贖の南、

東光縣

府城の南、百二十里あり、漢代の舊、

胡蘇河

孫贖の南三千里あり、漢書の地理志、

○新河 孫贖の南、

○瀋河 孫贖の西、

獺河

孫贖の南、

○天胎山 孫贖の南、

○西光城

胡蘇墓

孫贖の南、

○三山墓 孫贖の南、

○西光城

景州

府城の南、百二十里あり、漢の景州、後魏の景州、

即今の州治あり、

衛河

州の東、三千里あり、源、

○盧師谷 州の

○障水院 州の南、

賣川臺

州の南、

博士文章、獨闢漢西京、醇儒豈以科名重、英主無

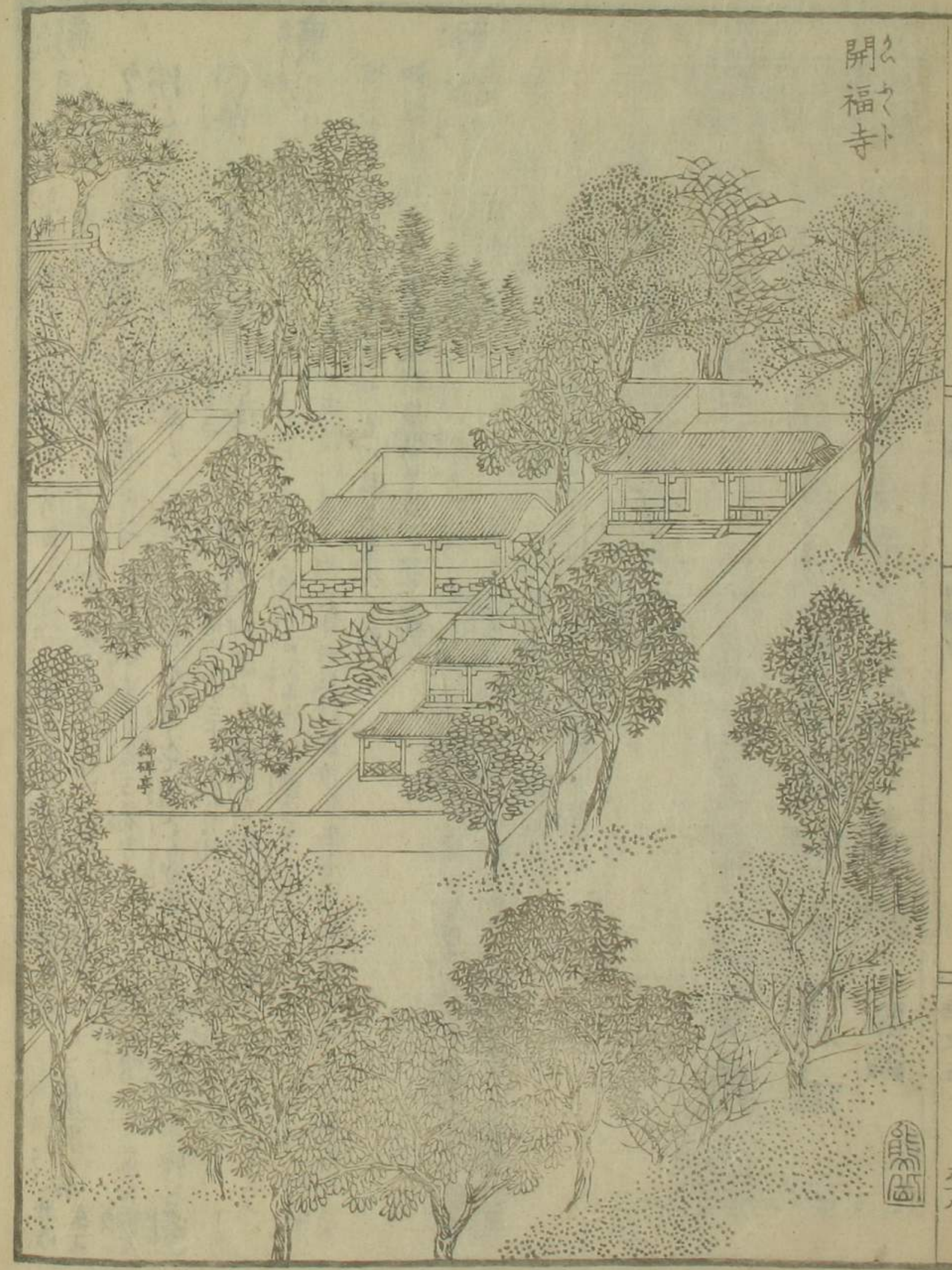
如經術、輕却笑、武皇親制策、牧羊牧豕盡公卿

周亞文廟

州の西、

漢室深謀只似癡、楚王當幸更無機、  
荒墳空映應、後楚宜有神、光盡陸、  
離元宋、本周亞、夫廟詩、東河

開福寺



開福寺

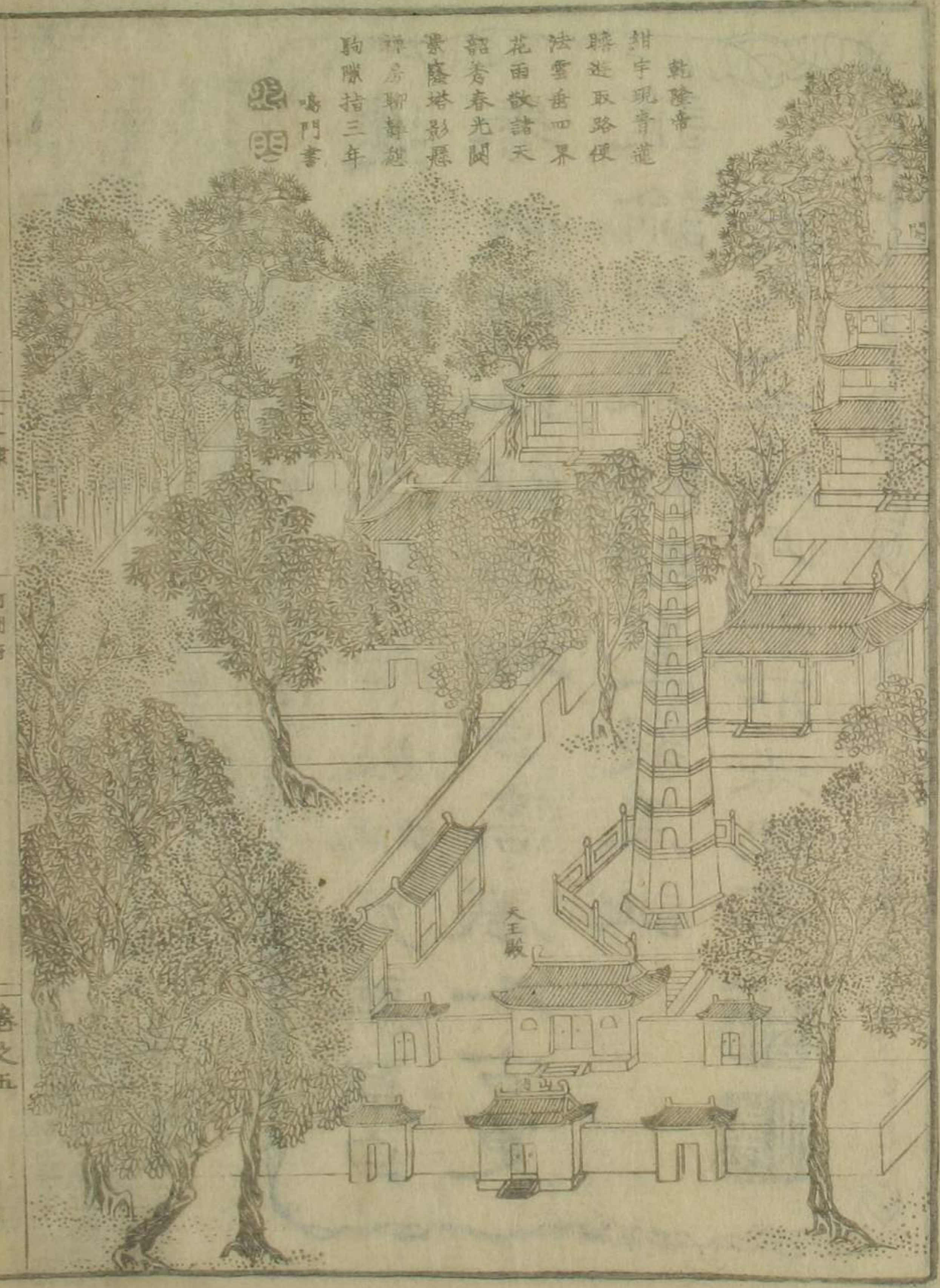
乾隆帝  
 紺宇現青蓮  
 聯近取路便  
 法雲垂四界  
 花雨散諸天  
 韶卷春光闕  
 紫臺塔影懸  
 神房聊靜越  
 駒隊指三年  
 鳴門書



直隸

河間府

卷之五



天王殿

弓高城

州の北に十里あり。漢の縣治の遺址なり。

廢蔣縣

州城の内あり。漢の蔣縣なり。

廣川廢縣

州の西南あり。唐の縣治の遺址なり。

董家里

州の西南六十里あり。廣川鎮即董仲舒が下帷讀書の處也。

廣川の人廣川に董都郡に屬し、今の景州蔣縣を縣の西南の郷に廣川鎮あり、其別墅を董家里と云ふ。董仲舒の故里なり。

連郵禾黍名猶昔故址荒蕪草白  
 春慨想江都為相曰高風千古更  
 誼論名宋紹明董家里註  
 文化乙丑復月吳所米迪書



高頻故宅

州城の北にあり。又楊樹あり。高頻、魏の太子也。高頻、魏の太子也。高頻、魏の太子也。

防山村

廣川鎮の南にあり。防山、魏の太子也。防山、魏の太子也。防山、魏の太子也。

人物

○賈島村  
 州の西南十里あり。賈島、唐の詩人なり。賈島、唐の詩人なり。賈島、唐の詩人なり。

○人物  
 南朝の高僧、勸海僧の人なり。勸海、隋の人なり。勸海、隋の人なり。勸海、隋の人なり。

○封氏  
 封氏、隋の太子也。封氏、隋の太子也。封氏、隋の太子也。

唐土名勝圖會卷之五終

唐土名勝圖會

直隸

河間府

水越 石田  
 久村 石田  
 由堅 春日



六冊ノ本